

# 第11回鍵山教師塾

in 山口

体験記



朴の森

山口市立興進小学校

2016.8.6～7

「第十一回鍵山教師塾」

◆ 平成二八年八月六日～七日

◆ (掃除会場) 山口市立興進小学校

◆ (講習) 朴の森

◆ (参加人数) 一〇〇名

六日(土)

十三時 開会式(元気の里)

鍵山秀三郎相談役 講話

十四時 鍵山相談役DVD観賞

十四時半 仲田丘先生 講話

十六時 中原雅史先生 実践発表

十六時半 質疑応答

十八時 夕食・懇親会(一隅の里)

二二時半 就寝

七日(日)

六時 起床

六時半 朝食(一隅の里)

七時半 会場へ移動

八時 掃除実習(興進小学校)

十時半 閉会式

十二時 昼食(元気の里)

十二時半 鍵山幸一郎氏 講話

十三時 大谷育弘先生 実践発表

十四時 感想発表

一四時半 閉会式

【ご挨拶】

第十一回鍵山教師塾実行委員長 佐古利南

最初に個人的な思いを述べて恐縮ですが、これまで東京や京都、そして沖縄での鍵山教師塾に参加して、その度ごとに募った思いは、この素敵な会を山口で開催したいということでした。全国から集まる志ある先生方と山口の先生の出会いの機会を作り、地元の教育界にも鍵山相談役の思いを広めたい。しかも会場は、相談役の思いの籠った元イエローハットの研修センター、現在の「朴の森」で開くことができたなら、どんなにか研修の实の上がることだろう。そうした思いから、多くの方の賛同と協力を得て今回の鍵山教師塾が実現の運びとなったのです。

会には、北は北海道から南は沖縄まで大変多くの先生方にお集まりいただきました。参加者の皆様から寄せられた感想を読むと、講話者の話に新たな気付きを得たり、また他の参加者と積極的に交流を図ってお互いに刺激し合ったりと充実した時間を持たれたようで会を主催したものとして大変嬉しく思いました。

それにも増して嬉しかったのは、鍵山相談役にご参加いただいたことでした。あの時の相談役のコンディションは私たちの前に出れる状況ではなかったのです。開会式直前には、「少し横になりたい」と、簡易ベッドに臥せておられたのです。しかし、私たちの前でお話しになっている時には、そうした気配は微塵も感じさせられませんでした。相談役の教育にかける思いの強さ、日本の未来を担う子どもたちの前に立つ先生方への期待の大きさを物語ってあまりあるように思います。相談役は心の籠った講話を終えると帰路につかれましたが、大会の二日間はずっと私たちの側にいて会の行方を見守って下さるような感覚を覚えていたのは私だけではないと思います。大会を通しての参加者の熱気は明らかに相談役の存在あつてのことでした。

この鍵山教師塾へ寄せる思いの強さは、様々な事情から参加を見送らざるを得なかった全国的心ある先生方もまた同様でした。多くの方から大会の成功を祈るというメッセージが届けられました。その一人である長野便教会の太田智明先生からは、参加者全員に長野教育界の至宝毛涯章平先生のエッセー「道遠し」と講演を記録したCDを贈っていただきました。そのエッセーの中に、私の心をつかんで離さないエピソードを記した一文があります。

カントの「純粹理性批判」の読み合わせをしていた長野県の山間地域の教師たちが、「明日の授

## 第一章

### 第十一回 鍵山教師塾 体験記

★福岡県 五十代 男性★

業に役立つわけでもないのに、なぜカントを読むのか」と問われ、「教師も下品になりたくないからです」と答えているのです。このエピソードを紹介した後で毛涯先生は、「教師も下品にならないと、先人は心をくだいた。人間の品位と尊厳への志向を教師が断念するとき、一切の教育の荒廃が始まると考える」と記しておられます。

この「下品」を避けるための自己研鑽の道は遠くで厳しいものがあります。しかし、私たちは目標となる鍵山相談役という格好のモデルを持っています。そして、志を同じくして励まし合う全国の仲間を得ることができました。今回の研修会が、参加者一人一人の自己研鑽の稔があり、これからそれぞれの職場で様々のことを一歩前に進めるときつかけになるとしたら大変嬉しく思います。

最後になりましたが、鍵山相談役、参加者の皆さま、「朴の森」に関わる皆さま、宇部掃除に学ぶ会、下関掃除に学ぶ会、そしてその他の会の成功のためにご尽力下さった皆さまに心からのお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

平成二十八年八月吉日

佐古実行委員長様、山口のお世話いただいた先生方、そして鍵山教師塾の連絡等をいただいた皆様、本当にありがとうございました。おかげさまで、ありがたい学びの時間をいただきました。学ばせていただいたことを日常に反映させることで、感謝の気持ちを表したいと思っております。私は初日の夕方まで参加させていただきました。短い時間でしたが感想を綴らせていただきました。

鍵山先生はご病気でいらっしゃるにもかかわらず、教師塾に足を運んでくださいました。そのお姿は、静かに光を放たれるかのように、深く参加者の皆様をお思いなり、私は会場にお出でくださったありがたさを感じておりました。

「誰にでも夢、希望、願い、祈りなどありますが、それらを持ち続ける土台があります。それは、意外にも絶望であり、破滅・破綻であります。」とおっしゃいました。そして、「いつも緊張して、リスクを感じているからこそ、強く夢や希望を持つことができます。」と続けられます。いかに夢や希望が大事なのか、それを捨てないことが尊いのかを語ってくださいました。夢や希望は力であ

る、いつ破滅するか分からない自分を救ってくれる光である、絶望と隣り合わせだからこそ、夢や希望を叶える意義が強くなる、つきりとかめるということだと思えます。すさまじい覚悟です。これほどの強さを持って「こと」を成し遂げる覚悟があるかを問わなければなりません。「まず、実行することです。その実行したことを続けることです。それには勇気が必要です。勇気はすぐには持てないのです。覚悟しないと勇気は出ません。」覚悟して理想の実現に臨めと教えていただきました。

「どんな偉人でも、はじめは皆、赤ん坊なのです。何の役にも立たないように見えるのです。」「自分では正しい道だと思っても、何の役にも立たないなどと言われることがある。生まれたての赤ん坊と見られるのです。人から理解されないことがあるけれども、やり続けていたきたいのです。」「強いメッセージをいただきました。正しい道が理解されないことがあるとはどういうことか考えてみました。現代は価値観の多様化と言われ、比較的いろんな考えが自由に飛び交うようになっています。驚くほどの非常識な意見は論外としても、一般的に「そこまでしなくても…」「それは個人個人の考え次第だから…」「あなたはそれでいいでしょうけど…」などはよく聞かれます。正

しい道が理解されないのは世の中をよくすることについて大義がないことによるのだと思います。だから、まわりの人の身近な暮らしの中に高まりが感じられたときに、その正しい道の理解が得られることになるのでしょう。しかし、それは単純な「もの」「こと」の高まりのみではなく、その根となっている精神性の高まりを指していると考えるべきだと思います。「命がけで取り組んでやっとなしたことに価値があります。すぐに結果や成果は出ないものなのです。返ってすぐに成果が出るのはいらないと考えられます。」と話されました。見方を細かくして、確かな実践に真剣に取り組むことを伝えていただきました。掃除の実践もありますが、教育実践もやはりそうだと思います。難しいケースに出合っただけで立ち向かい、悩み考え工夫して糸口を見つけ、継続して関わっていくといったことを何度も繰り返すなら、当然、実践力は高まります。高まった実践力は、さらに多くの子どもたちや人々、同僚、学校を救い、活性化させることができます。これもまた、鍵山先生の強いメッセージに違いありません。先生の著書『困難にも感謝する』に通じる考えだと察しました。鍵山先生のお話は、「言葉」の奥にあることを受け取ることだと感じます。どうしても「言葉」を聞くと、通常やっているよ

うに「言葉」を左脳で分析し、理解して知識として蓄える作業をしてしまいます。それでは、実践に直結しませんし、勿体ないと思うのです。「言葉」以上のことが含まれていると感じて、その「言葉」の奥を自分の胸に入れようとする作業も大事だと思います。「言葉」の奥にあることは、私たちそれぞれが解釈しなければならぬと思います。例えば、鍵山先生の夢や希望かもしれませんが、「言葉」を包む鍵山先生の精神であるかもしれませんし、無限に広がる人々や世の中への愛情でもあるかもしれません。貴重なお話を拝聴してありがたい時間でした。会長の田中様からは、鍵山掃除道についてお話を聞かせていただきました。「学びは現場の実践にある」と根幹となることをまず伺いました。掃除の五つの効用、座右の銘「攀念痴」（恨み辛みを持たない）、トルストイ「人間の不幸は不足から生じない、あり余るところから生じる」、「百万典経、日下の灯」（いくら知識があっても実行しなければ意味がない）、佐藤一斉『言志四録』八十九条「自身より子孫のこと、今のことより将来のこと」「自分の孫だけでは幸せになれない、よい世の中にする」をお話しいただき、どれも掃除道について端的に示していただく内容であり、学校現場で教育指導を進める姿勢に必要なことだと感じました。

特に、印象深かったのは「世の中をよくすることができない人が『会社』をよくすることはできない。」「売り上げ、利益だけでは会社は良くならない。世の中の価値ある集団になること。」ということでした。ふと、教師集団は世の中の価値ある集団になっっているだろうかと思いました。確かに、利潤追求の集団ではありませんが、教育に関して人間観、人生観、倫理観等、どれほどみつめているのか、どんな世の中になることがよいと思っただけで、そのために自分自身何をやっているのか、だから子どもにどんなことを話してどんなことをさせているのか、問うてみる必要があります。「世の中をよくすることができない人が『学校』をよくすることはできない。」といえるのではないかと思います。鍵山先生の著書「ひとつだけ拾えば、ひとつだけきれいになる」にある一文「第一、足元のゴミひとつ拾えぬほどの人間に何ができませんか。」を思い起こしました。足元のゴミを拾うことと世の中をよくすることがつながります。世の中は大きすぎてとても相手にできない感じがするのですが、実はとても身近なことで自分もできることはあるということを教えていただきました。仲田先生のご講話には、先生の持ついらつしやるすばらしい教育観が溢れていました。「子どもは自分は大切にされていると思っ

いることが大事である。「子どもたちを大切にしていることを教育内容や教育方法で伝える学校経営でありました。特に、「人は毎日見ているものに心が似てくる」というお考えから、「美しいものを美しいと思う」「美しくないものを美しく変える」「美しい中で子どもを育てる」という方針をお持ちですばらしい実践をご紹介いただきました。「心が似てくる」のは、毎日見ているものに心が動かされるのだと思いますし、毎日見ているものがその人の標準になるからだと思います。考えてみれば、恐ろしいことです。何が標準になるか、学校環境をつくる教師が握っていることになりす。しかし、そのような方針で教育活動が進んでいったにしても、多感な年頃の子どもたちは、自分自身をどのようにみつめればよいか、何が価値あることで、自分はそれに対してどうなのか、友達をどう見つめればよいのかなど、個別的に迷い悩む隙間が現実にはあると思います。それを埋めるべく、自己認識をさせ、自己理解、他者理解、引いては学校理解を進めるために、全校集会の講話、昇降口の写真があるのではと思います。写真からこれほどの情報が伝わるのかと感動し、精選されたスライドの言葉に胸を打たれながら、そこに込められた思いと意図を感じとることができました。さらには、まさに現場主義、実

に現場にびったりとくる「使えるキーワード」をたくさん示していただきました。

● 「学校の組織の中で、私の仕事、あなたの仕事、誰の仕事でもないことがある。このうち、誰の仕事でもないことが学校に満ちあふれている。」

● 「プロとアマチュアの違いは道具にある。」

● 「物には住所がある。」

また、「知識の量だけで自信がつくのではない。実践させ、自分が変わっていくことが自信になる。」だから『やればできる』ではなく『やらせればできる』というかわりを教師がすることおっしゃいました。教師の高まりは、自分が先に実践して、自分が変わることを先に体感、体得することであるに違いありません。それによつて、子どもを変えることができるのだと思います。すばらしい実践の様子をお聞きしますと感動をいただきますし、涙が溢れるほど幸せな気持ちにもなります。中学生の幸せそうな笑顔がたたく拝見させていただきました。

★★京都府 四十代 男性★★

【原点回帰】

二日目からの参加となった鍵山教師塾。大谷先

生からいただいた言葉が胸に突き刺さった。

掃除をしたら本当に心がきれいになりますか？

掃除をしたら立派な人になれますか？

この問いかけは、便教会や掃除に学ぶ会では当たり前とされている前提を覆すものであり、でもあえてそのことを言われた大谷先生の魂に本気の思いを感じた。確かにほとんどの学校で掃除は行われている。では、全員が心が磨かれているかというところではない。どんな気持ち、どんな姿勢で掃除をするのかということがいかに大事であるかを気付かせていただいた。

数学に置き換えると、一十一二という計算を毎日していても数学ができるようにはならない。自分のレベルより上にチャレンジし、その間違いに気付くから力がつく。さつとできた時は時間をもてあそぶのではなく、人に教えることで新たな気付きを得る。数学を教える時に、その態度についていつも指導していた。

しかし、何のためにするのか明確で、自分の立ち位置が分かかっていて、志や使命感または覚悟が決まった時に人は大きく成長するのだということを経験上知っておきながら、我が身になるとできない理由や傲慢な自分が姿を現してくる。現にトイレ掃除を終えた午後の部で鍵山幸一郎さ

んからお叱りの言葉を受けた。「同じことは二度は言いません。なぜ、こんなに疎らに座っているんですか？生徒がこういう状態なら注意するでしょう。なぜしないんですか？」自分は最前列に座り、一瞬私の事ではないと思ったが、すぐに反省した。会が始まるまでに、詰めて座りましょうと声かけすれば、幸一郎さんに嫌なことを言わせなくても良かった。行動しなければやっではないのと同じ。結局、こういうことが自然と当たり前にできることの方が大事で、どういう順番で掃除をやればきれいになるかというノウハウを知るために掃除をしているのではない。大谷先生が伝えなかったのはこういうことだと感じる事ができた。

私は京都山城便教会の運営をさせていただいているが、今回の大谷先生のお話で軸が定まったように思う。

- ① 長年やっている各人の指導を見つめ直し、原点に帰る。
- ② トイレ掃除の向こう側に、生徒を写す。
- ③ 気付きを行動につなげる。

森信三先生が次のようなことを言われている。「教育とは流水に文字を書くようなはかない業である。だがそれを巖壁に刻むような真剣さで取り組まねばならぬ」

絶えず変化する子供の心。それをこうだと決めてつけて教えるのは傲慢である。流水のように絶えず変わっていく流れの中で、その流水に対応する柔軟さと受け入れる力を求め続けながら、しかし一方で何のためにやるのかという強い信念はいくら手応えがなくても見返りを求めず、ただただ巖壁に刻むような強さでやり続ける。京都山城便教会ももうすぐ三年目を迎える。さて、初回を迎えた時のような思い・志はさらに磨かれているだろうか？一〇年続けると決めて始めたが、惰性でやっっていないだろうか？

何事にも基礎・基本がある。その基礎・基本を常に反復練習し、志が磨かれる。掃除で気付かせていただき、すべてのことの基礎・基本を見つめ直す。その繰り返しのみが日本を美しくする唯一の方法ではないだろうか。

たった一日の活動であったが、この一日は、原点に戻していただくとても大切な一日となった。お世話いただいたすべての皆様に感謝しつつ、そのご恩を次へと送っていけるように、覚悟と勇気をいただいた一日でもあった。

大谷先生はじめ、鍵山教師塾の同志の先生方に心より感謝致します。ありがとうございました。

★沖繩県 五十代 男性★

貴重な時間に参加させて頂き心から感謝します。「過ぎていく時間の中で、何を積み上げていくか。」自分自身への問いかけであり、子ども達への日常的な問いかけでもあります。佐古先生からお電話を頂き、今回参加させて頂くことになりました。振り返ると二〇〇八年三月に佐古先生のご自宅で、管理職としての視点、姿勢の在り方を教えていただき、東京世田谷の事務所では鍵山相談役に人としての在り方、教師としての使命を教えていただきました。それはこれまでの自分とは違う生き方の世界を身近に感じさせてくれるお話で、それが私の学校管理者としての実質的な出発点となりました。そして何より個人で訪ねてきた私に、お二人の貴重な時間を提供して頂いたこと、本当に丁寧にお話しされたこと、それは「生徒、教師の存在を認め大切にすること、それは「こういうことなんだ」という実感を頂いた時間でした。以来たくさんの方々のご縁を頂いて今回 in 山口への参加となりました。相談役のご講話をいただいで「物事は到達点ではなく、全て通過点であり、前へ、前へ進むこと」「訪ねたのは一人だが、自分の後ろに次の時代の子ども達がいること」を再確認することができました。そして多くの実践発表、ご講話から私自身、「そのために、工夫

していますか？努力していますか？謙虚さを忘  
れていませんか？」のメッセージを浴び続けた二  
日間でした。この素晴らしい大会へのお礼は、帰  
ってから「挑戦を続けること」だと肝に銘じ、実  
践に根気強く取り組んで行きたいと思います。大  
会開催のスタッフの皆様方、すべての方々に関心か  
ら感謝いたします。

★★北海道 四十代 男性★★

今年転勤になり、十七年間の教職生活で初めて  
「教師を辞めたい」と思う日々が続きました。一  
部の女子児童（六年生）と信頼関係を上手く築く  
事ができず、何のために教師をしているのかがわ  
からなくなっていたからです。挨拶をしても無視  
をされ続けました。授業を始めようと思ったら教  
室に誰もいないことがありました。「目が腐る。」

「○○菌がうつる。」「誰もおまえのこと教師だ  
と思っただけ。」などと毎日言われ続けました。  
四・五月は給食が喉を通らず体重も気がつけば  
三kg落ちていました。夜は眠れず、転職先をイ  
ンターネットで検索していることもありました。  
しかし、そこで教職にピリオドを打つことなく  
踏ん張ることができたのは鍵山教師塾と、そこで  
出会った皆さんとのご縁、学びがあったからだ

今強く思っています。

何度机に落書きをされても環境を整備し続け  
たこと。反抗的な態度を取る児童に対してもじつ  
くり向き合えたこと。心をぶらさず志をもち、声  
を荒げるなど恐怖・不安で支配しようとするので  
はなく、目的論で子どもを見つめ、大切だと思っ  
たことを伝え続けられたこと。これらは掃除を通し  
て学べたことがとても多いと感じています。

北海道の夏休みは短く、八月十七日から二学期  
が始まりました。お陰様で、まだまだこれからの  
ことも多く、目指すゴールとはかけ離れてはいま  
すが、子どもたちとの関係も上向きになり、毎日  
を楽しく過ごすことができます。

鍵山先生の想いを大谷先生の話をお聴きまで全  
くわかっていませんでした。いや、今も本質はわ  
かっていないと思います。私は本当におめでたい  
人間です。

「教師だからこそできることがある」  
使命を自覚し、そして、少しでも本質に近づける  
よう足元を見つめ、日々実践・努力していきたい  
です。ありがとうございます。

★★福岡県 二十代 女性★★

この度、初めて鍵山教師塾に参加させていただ

きました。まだ、大学で教職課程を学んでいる立  
場での参加ではありましたが、正に生きた学びと  
人生の中でも大きな出逢いを得ることができま  
した。

私が鍵山教師塾に参加させていただきつつ  
けとなりましたのは、母校で鍵山先生の掃除道を  
実践されている先生のお姿を拝見し非常に感銘  
を受けたからです。また、その母校が鍵山先生の  
「凡事徹底」というお言葉を掲げ、人間力教育に  
力を入れていたため、生徒として「鍵山掃除道」  
の教えに近いものに触れておりましたので、自身  
が教育の現場に立つ前にその真髄を学びたいと  
思っております。

初めてお会いした鍵山先生のお言葉は一語一  
句心に響きましたが、特に「リスクが私を支えた」  
という、「覚悟から勇気が生まれる」といったお  
話は志半ばの私にとって感慨深いものでした。自  
分が進むと決めた道に覚悟を持っているか？そ  
う自分に問うきつかけとなり、まだまだ自身の  
「心」と向き合うべきだと思いました。この時の  
自身への気づきによって、次の日のトイレ掃除で  
は、汚れと向き合うことから次第に自身と向き合  
うことができ、掃除の中にある「真理」を感じる  
ことができた気がします。

また、仲田先生、中原先生、大谷先生の実践か

ら掴んだ真理のお話は、大学の机上の学びでは得ることができない「生きた学び」であり、そして教育現場・学校という場の本来あるべき人の「暖かさ」を感じるものでした。

二日間を通し学んだことは、知識を超える「良知」でした。五感をフルに使い、感性が奮い立たされる感覚で、たくさんの先生方とお話をさせていただきましたが、すべてのお言葉が吸い込まれるように自分の中に入ってきました。教師塾に参加するうえで最も大切なことは、「この学びをどう生かすか」であると思うので、自身のフィールドでこの学びを昇華させるためにも、まずは全てに感謝することに始め、実践という歩みを進めて行きたいと思います。

最後に、この度出逢わせていただいたすべての方々に心より感謝を申し上げます。我以外皆教師也。

★★大阪府 六十代 男性★★

いつも感じるのですが、「言葉は力」だと思う。鍵山教師塾でお話をして下さった鍵山先生はじめそれぞれの実践者の発表を聴きながらそのことを痛感した。お話をして下さる方々の言葉の一つ一つが、理解というレベルを超えて、納得と

いう形で胸に入り時には自分の脳天を打ちのめされるような衝撃を受ける言葉に出会った。その言葉の重みの衝撃に全身身震いし消化しきれない自分の非力さと心の容量のなさにハッとする。自分の視点の低さ、視野の狭さ、決断力や行動力の弱さを指摘され、自分の課題を突きつけられ、無意識の内に身に付いたであろう経験から来る自信のようなものが、萎んでいくような感覚に襲われることが度々あった。

しかし、よくよく考えて見れば私には、今回のような衝撃的な体験が必要というより必然であった。そう思うと、打たれる快さと有り難さに感謝の念が禁じ得ず涙が出る。お話をして下さったみなさんに共通するのは、すべて自らの生き方を生活の中での実践を通して磨き揚げ身につけた言葉であったこと。生き方や人間性を問われる自分に与えてくれた滋味溢れる衝撃的な言葉や指摘にただ感謝である。

【鍵山相談役の言葉から思うこと】

①「初めから勇気は出ない。実践を通して覚悟が決まって勇気が出る」と。日常的に、生徒達に勇気という言葉を口にするが、実践という現場を体験してから得るものだと納得する。まず実践。そこが肝心だと肝に銘じたい。

②何かを始めると「必ず、嘲笑があり、抵抗や反対があるが、これらを超えて本物になる」と。大哲学者ショーペンハウアーの言葉を引用したこの言葉に、鍵山先生自身が救われたと仰る。鍵山先生でさえそうであれば凡夫の我々もこの言葉を、実践の折りの守り札としたい。

③何かに取り組む中で、よく周囲からささやかれるのが、そんなことをして何になるのかと。そのことへの返答として先生は「生まれたての赤ん坊は何か人の役に立ちますか」とフアラデーの言葉を引きながら言い切られる。まさに救いの言葉であり、実践者の何があってもやり続けるという底の覚悟の必要を感じる。すぐに結果の出ることはたいしたことはなく、命がけで実践したことに価値があると。

④世の中には現在「(何事も)勝ち取る」と言う風潮がありそれが「心を荒ませ精神のレベルが落ちていつている」と。方向としては「努力によって与えられるものである」こと。関連して文豪トルストイの「一切の不幸は貧しさや不足から生ずるのではなく、あり余るところから生ずる」の言葉を紹介されたことで、変わらない人間洞察の一端を感じた。

⑤鍵山先生の「強さはどこからでているのか」という自問に対して答えられた先生の言葉。夢、



希望、願い、祈りのために、薄氷を踏むような思いで絶望、破滅、破綻などのリスクを乗り越えて来られた命がけの生き方。まさに鍵山先生こそ「本物の人物」だと感じる。

【田中義人会長の言葉から思うこと】

①「現場が学びである」と。真理は現実の只中にある」と言われたのは森信三先生。禅語の「看却下」に通じるものを感じる。

② 鍵山相談役を神格化しないで、「鍵山相談役をキツカケとして自己を磨く…同志である」と。

我々は、鍵山先生の真に求めたこと（世の中の荒みをなくしたい）を求め引き継ぎ努力したいと思う。

③「争って得ることはない。争わない」と。自

らの争う意識に警鐘を鳴らされた感じがする。

④「人を喜ばそうとすると、気づく人になる」

「感動する人は感謝する。感謝する人は感動する。感動と感謝は連動している」と。すべては感謝から始まるという言葉を思い出す。

⑤「どんな実践も、本当に子どものことを思っていないと、子どもの心に入らない」と。心を育てようとする我々教師はテクニクや知識ではない人間力を付ける必要を再認識する。

⑥ 田中会長が、閉会式で挨拶された中で「どんな運動もはじめは点からですよ…」と強い口調で

仰られた言葉が身に滲みだした。そして、会長が帰られる際、玄関でお見送りの時、その言葉に感謝のつもりで会長に握手を求め両手で硬く握った。すると涙が出て来た。今置かれている自分の職場での立場を巡ってのことで、「…はじめは点からですよ」には、何者にも代え難い温かいエールのように感じて感極まった。同じことを以前、鍵山相談役からも靖国での教師塾で「田中さん、諦めないで…諦めたらだめですよ」と、たった一言言われた時にも心強い励ましと感動を受けたことがある。お二人の言葉は、今の私を支えてくれていた。

【鍵山幸一郎社長の言葉から思うこと】

① 本題に入る前に、鍵山社長から、「一度しか言いませんが…」と、我々教師の基本的な態度を厳しく指摘された。前の空いている席を見て、「先生はいつも生徒に言っていることですね。席は前から詰めましょう」と。私は前の方だったが、それでも詰めてはいなかった。恥ずかしいと思った。

② 「事実と真実は違う」と。マスコミから受ける事実は真実が化けたものもあるという指摘。若い時期は、大新聞の情報だけが本場で価値ある情報だと信じてきた反省がある。今は違う。鍵山社長に同意する。

③ 「先生と教師」の違い。師と言われることの意味を考えると重い使命感を感じる。鍵山社長はなおも「生きている人に師を探す」ことを薦められ「自分にとって不利な選択をすることになっても従うそんな師」と仰った。「書物に書かれた真理は平面的だとすれば、師を通して学び得た真理は立体的である」と森信三先生が仰られた。人生の指標として師を持つことの必然をこの歳ながら思う。

【仲田丘先生の実践報告に思うこと】

仲田先生のお話は昨年先生の勤務校である嘉数中学校で聴かせて頂いたのが最初だった。実際に学校を目で見、生徒達や職員方と触れあっていたせいか、報告内容がとても身近に感じられた。「美しい環境をつくる」美しいと感じる心を育て、校内の不快感を除外し取り組み。その取り組みの具体的な計画と、職員と一丸となって進める決断力と行動力にリーダーの姿勢を感じた。環境が変わる様子を、作業前と作業後の写真に撮って掲示する方法や七夕やクリスマスに校内に飾りものをするなど楽しい工夫もされていることにも感心した。

鍵山先生の「凡事徹底」と森信三先生の「時を守り、場を清め、礼を正す」の実践の模範を見た感じがした。

【中原雅史先生の実践報告に思うこと】

お話を聞いての第一印象は、何と「決断力と行動力」の溢れた先生だなあと驚いた。これほどの行動力のある先生は私の勤務する市内の学校にいるだろうかと思う。

テニス部で「日本一になる」との思いが、単なる標語や看板ではなく、具体的にその目標に向かって全国を行脚し、知己を得、書籍から習得したことを取り組みにすぐに生かす。福島の中田真仁さんとも縁を結び、ひまわりプロジェクトに協力しながら子どもたちに被災地との繋がりを作っていくネットワークの素晴らしさに感心する。自分の思いを取り組みに生かすために行動し実践する。見習いたい姿勢だ。

【大谷育弘先生の思いに学ぶこと】

大谷先生からはこれまで「便教会」等の場で多くの気づきや学びを得てきた。しかし、今回のお話の始めの言葉が「掃除を疑う」と言う提言には驚かされた。これまで掃除がスタートであり掃除がすべての価値を生んでいくと信じて取り組んできた。さらに、大谷先生は「掃除をする心がかきれいになると言いますが、本当にきれいになっていますか」の問いかけ。そこには掃除だけをしていれば、自然と自分の人間性があがるのではないかという思い上がりの落とし穴があり、大谷先

生がよく口にされる「おめでたい人」に陥ってしまふという指摘だと思った。

今一度、「鍵山先生の生き方に思いを寄せた掃除」にこそ教師の学ぶべき姿勢があると大谷先生。鍵山先生の祈りに似た言葉「世の中の荒みをなくしたい」という一点に思いを馳せて「掃除に没入」する態度が日常的に求められている。教師しかできないこと、その使命感への覚悟があるかと問いかけていたように思った。ただ、生徒にやらせて結果を求めるのではなく、自ら掃除に没入し実践しつつ発信していく車の両輪として「掃除道」があるのではと感じ取った。いつもの大谷先生の言葉よりさらに深いものを感じた。大谷先生は、この鍵山教師塾を通して、鍵山先生と我々教師を繋ぎとめてくれている。大谷先生の「もう時間がない」との一言を厳粛に受け止めなければと思う。

【佐古利南先生はじめ多くの方への感謝】

今回の鍵山教師塾を実施するに当たり、多くの先生方や各地の掃除の会のみなさまに大変お世話になりました。有難うございました。

特に、佐古先生には「鍵山教師塾を山口でやる」と提案され多彩で意義深い充実した時間を共有出来たことに心より感謝申し上げます。また、今回の鍵山教師塾で出会いの縁を頂いた方々、さ

らに再会を果たし元気を頂いた旧知の先生方に感謝致します。

最後に、素晴らしい環境の研修施設で研修させて頂きお世話下さったみなさんにお礼申し上げます。有難うございました。

★★大阪府 五十代 男性★★

【鍵山先生の生き方に学ぶ】

山口の地での鍵山教師塾に参加させていただき誠にありがとうございました。この山口の地で開催されたことに深い意味があるように感じます。今回は、鍵山秀三郎先生が一〇分間のご講演だけのために山口に入られると伺っておりました。日本の教育、教師への強い思いをもっておられるとその行動から改めて感じましたし、これまでのようにお話を聴かせていただいて学びを深めるということではいけないという強い思いで参加させていただきました。

今回、私自身は鍵山先生のお話の内容をしつかりと心に刻み込もうと参加させていただいたのですが、気づけば鍵山先生のそのお姿から様々なことを感じる自分しかいませんでした。体調がすぐれない中、予定は 十分のところを倍の二〇分お話いただきましたし、腕が思うように動かない

ので字を書くことは出来ないという事を伺っておりましたが、ホワイトボードに懸命に字をお書きになっているお姿に胸が熱くなりました。それは正に鍵山先生が我々に伝えようという気迫の現れであると受け止めさせていただきました。また、会が始まる前の控室では、お一人お一人に丁寧にお言葉を掛けられている鍵山先生のお姿があり、自身の魂を私たちに伝えるべく、教師への強い思い、教育へのメッセージをそのお言葉、行動からも感じさせていただきましたと共に、それは次世代の子供たちへの思いでもあると改めまして使命感、責任感を強く感じずにはいられませんでした。

これまでの鍵山教師塾とはまた違った空間の中に身を置き、感じる事ができましたのも、この日に合わせて早くからご準備いただき、お心配り、お気遣いをいただきました佐古利南先生、三好祐司先生、山口県の先生方の思い、ご尽力があったからだと思われ御礼申し上げます。会場に到着した瞬間、その温かい空気に包まれ、人と人とを繋ぎ、共に学ぶ時空をご用意いただく中で、寝食を共にする中から湧き出てくる教育観を共有させていただける素晴らしい時間をいただきました。お迎えからお見送り、また現地でのお世話まで、温かい雰囲気の中で実践を通しての深い

意味のある二日間を共有させていただきましたことに感謝申し上げますと共に、今回の経験、学びを日々の日常に落とし込んで実践を通して受け継いでいくことが私自身の使命であると感じました。

また今回の会の中で、現場の経験豊富な三名の先生方より貴重なお話を伺う機会にも恵まれました。仲田丘先生、中原雅史先生、大谷先生からの実践発表からも改めて鍵山先生の強い思いを感じ取ることができました。本当にありがとうございました。

#### 【トイレ掃除実践を通しての学び】

二日目の朝からの興進小学校のトイレをお借りしましてのトイレ掃除実践では、朴の森より興進小学校までの移動は、山口の先生方が送迎を行っていたいただき、会場に着くと、掃除道具がすべて用意してありました。当日は、教師塾に参加の先生方だけではなく、地元の小学生も参加されていたり、親子で参加されている方々もおられ、どこか大阪での掃除の会と同じような温かい、安心感のある空間の中で、掃除実践を行わせていただきました。靖国での鍵山教師塾の際には、いつも鍵山先生が各場所を巡回され、気づかれたことを自ら実践されながら我々に伝えていただいていたお

りましたが、今回は田中会長から実践を通してのご指導をいただきました。今回のトイレ掃除実践では鍵山先生はおられませんでしたが、側で鍵山先生が見守っていたような安心感の中で下座の姿勢を改めて学ばせていただくことができました。毎回会場やメンバーは違いますが、気が付けば一人ひとりが繋がりが、自然とその場の空間ができていくことに改めて掃除の力、人の思いの強さ、実践を通しての深まりを感じます。今回の掃除実践におきましては、それぞれには役割があり、それを責任感を持って実践を行う事で、その場の空気が変わり、一人ひとりの実践が繋がりをもち広がり、まさに初めて一緒に掃除をさせていただく方々とも自然と調和する素晴らしい空間を感じることができました。こういった実践を通しての経験をその時だけで終わるのではなく、日常の中で「一人でも実践できる」自分に落とし込むことが大切であると改めて再確認させていただくことができました。ルールに縛られることなく、自身の感性を磨き、高めるには、この掃除が一番だと思いますし、ただ掃除をするだけではなく、「掃除」を「掃除道」に変えていくことが大切だと日々感じております。大勢だからできるのではなく、「一人でもやり続ける」中で本来ある自身の感性は磨かれていくのだと思

います。また、今回のトイレ掃除実践におきましては、山口県の掃除に学ぶ会の方々のご尽力の陰で皆様と共に深い学びの時間を共有させていただくことができましたことに感謝申し上げます。

★★大阪府 三十代 女性★★

二日目のお昼から参加させていただきました。とても丁寧な三好先生からの連絡と、スタッフさんのご厚意で着いた会場にはおもてなしのムード。温かくて、とにかく、いろいろなものを見て触れていってほしいという主催のみなさんのお気持ちを感じる空間でした。

【鍵山幸一郎さんのお話】

それぞれが受け取る「事実」は、いくつもある。しかし、それにつながる「真実」は一つだけ。そこにつながる「真理」を知るために、考えるためには、自分が現地に行き体感すること、自分が真実（または、真実に繋がる考えを知れる材料）を持つこと。だと教えていただきました。

そして、一番に、生きている「師」を持ちましよう。とおっしゃいました。自分にとって不利な選択をしてくれる、そんな「師」を持ちましよう。私は、そのお話を聴いた時に、思い当たる人が頭に浮かびました。先輩の先生と友達です。自分に

とって不利な選択なのに、その人が言うならきつとそうなのだ。と受け入れられた経験を思い出したからです。きっと、私には、身近にも真実を見られる人がいて、そういう人を大切にしなさいと、そういうことなのだろうと思いました。ただそういう特別な場合だけでなく、日常から背中を見続けられる「師」を持つことが今大事なのだと思えていただきました。

【大谷育弘先生のお話】

ただ「掃除」をしても、心は綺麗にはならない、立派な人間にはならない。とおっしゃってから、「掃除道」のお話をされました。「掃除」という概念を二〇〇〇年という大きな歴史観を持ってとらえる必要があること。「掃除」には、世界の文化、宗教、思想を「超越した真理」があること。「掃除」は言葉ではない、「教師」に必要なすべてを受け入れられる器を作れるものであること。「掃除」に没入することで「良知」が発現し、矢印を自分に向けて実践を積み重ねていき続けることで、みんなに「この人が言うなら…」と、信頼をおいてもらえる人柄に近づいていけること。六波羅蜜のことは、素晴らしいバトンパスで大木先生がひとつずつわかるように教えてくださいました。自分の段階を考えながら、二〇〇〇年

という大きな世界観と自分の一生を重ねて考えるのが、とても不思議な感覚で面白く感じました。【第十一回鍵山教師塾に参加させていただいて】「掃除」は、国境も思想をも超越するということが一番ビビッときました。言葉にも負けない、その人柄で通じ合えるような、そんな人を目指して実践していき、大事な「教師」という仕事により使命感を感じて、子どもたちに携わっていきたいと思います。

最後に、田中会長から「会社も、子どもたちにとつての地域であり、大切な親を預かっているところ。学校とともに支えていく。」ということと、「一点」が一つつくと、必ず誰かが見ている。いつか繋がりが線となる。みなに一つ一つの「点」になつていただきたい。」とお話ししていただきました。私は、まず、とても小さくてもいいから「点」になれるようがんばろうという目標を持ってました。小さくても、薄くても、とにかく「点」になることで、誰かに見つけてもらえるかもしれないし、「点」と「点」が繋がる役に立てるかも知れない。そう思うと楽しいし、そのためにがんばることはできると思えます。

大きな視野を持って、そして、大谷先生が「時間がない」とおっしゃっていることを胸に、人として自分を磨き、教師としての器を作っていきた

いと思います。世界や未来のことを考えられるような子どもを育てていきたいです。

会を企画運営していただいて、たくさんのおもてなしをしていただいて、本当に感謝しています。とても温かい空間で、大きな学びをいただきました。本当にありがとうございます。

★★大阪府 三十代 男性★★

鍵山先生がお話をされるお姿。そしてそのお言葉。どれを取っても、とても重い。いったいどれほどの想いで、山口まで来られたのか。どれほどの想いを込めて掃除を積み重ねて来られ、そして後世を生きる私たちに何を伝えようとしてくれるのか。しつかりと受け止めなければならぬと感じました。鍵山先生は、決して人に「このようにしなさい」というようなことは言われません。

人ではなく、自分にベクトルを向けておられます。今、ここで、自分自身にベクトルを向け、問題に立ち向かっていかなければ、何を学んでいるのかわかりません。

鍵山先生が言っておられる凡事徹底という言葉。葉を、今の自分なりに解釈しますと、『小さなこと、やると決めたことを、簡単には辞めないで、決めたからには、やり続け、その中でどんな自分

に出会うのか。やり続け学び続ける』ということだと、今の私は感じています。やり続け、そして学び続ける。やりきる。言葉では簡単に表現できますが、体現することは難しいことです。難しいからやらないのではなく、難しいからこそ挑む。その気持ちでもって、大きな山に登るかのごとく、負けないで挑み続けなければならない。その覚悟でもって教壇に立たねばならないと感じました。今回お世話をしてくださった山口県の皆様、そして日本を美しく会、掃除に学ぶ会の皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

何より、私たちに大切なメッセージを送るために山口へ来てくださった鍵山先生には、感謝の想いでいっぱいでありたいです。今回の学びを胸に秘め、日々自分と向き合って参ります。ありがとうございます。

★★和歌山県 四十代 女性★★

鍵山教師塾に参加させて頂き、今回一番心に残ったことは、何よりも鍵山先生が当日、山口まで来てくださったことです。そして一〇分間の御講話を全身全霊を持って私たちに語って下さったことです。うまく言葉では表現できませんが、前に立たれた時、お帰りになられた時、会場につい

て挨拶と握手をさせて頂いた時、ふーっと涙ができました。心に深く深くお姿を刻ませて頂きました。鍵山先生にお心を伝えてもらった人間として、恥じない生き方をし、善いものに変えていこうと思いました。

鍵山先生から教えて頂いた「攀念智（はんねんち）をもたない」という言葉が、今回一番心に残った言葉です。山に登ることを「登山」と言いますが、同じ山に登るけれども、しがみついて必死により登ることを「登攀」と表現します。この「攀」という言葉には「恨む・憎む」という意味合いがあり、人間のエネルギーを消耗させるというのです。この念を持つことは損な生き方だと。鍵山先生は「攀念智を持たない生き方を」しつかりと心に刻み、現在まで生きてこられたのだと思います。鍵山先生は「絶望、破綻、破滅」をご経験されましたがその土台があつてこそ「夢、希望、願い、祈り」があると仰っていました。しかし、この土台の境目の薄氷を割らないように緊張感と覚悟を持って生きてこられたその奥には、逆境に立つても、決して人を恨まず、憎まず生きてこられたお姿があります。平凡な私にはなかなか真似のできることはありませんが、考え方を変えてみよう、行動を変えてみよう！これからは「攀念智」を捨てて穏やかに生きよう！心に温かい灯が

灯りました。ありがとうございます。

仲田先生の実践報告では荒れた学校を立て直すために、校内の環境整備と掃除を徹底されたこと、お花をいっぱい植える作業を生徒と共にされていた。仲田先生は自ら、やらせる、やりきる、やらせきる姿を、軸をブレずに示しておられました。実践力と根気強さと愛情を感じる素晴らしい先生の実践報告でした。「校内を整える」と「学力はついてくる」「勉強は団体戦」「子供たちは正しい話に飢えている」「目標を持ったときは方法と意味を教えると」数多くの名言を頂きました。ありがとうございます。

新山口駅を降りると笑顔の藤永先生、中原先生、吉田先生がお迎えして下さいました。鍵山教師塾を開催するにあたり、佐古先生、三好先生をはじめ、山口のスタッフの先生方に当日を迎えるまで長きに渡りご尽力下さったこと、感謝の思いで一杯です。送迎、ホテルの準備、会場の準備などなど、本当に本当にありがとうございます。元氣の里では、芯から体が喜ぶお食事をご準備頂きました。美味しい手打ちのお蕎麦や、驚きのかき氷まで本当に心温まる時間を過ごさせて頂きました。興進小学校でも、掃除道具の準備や後片付けまで全てお世話になりました。この御恩をどうやってお返ししたらいいでしょう。それを考えながら残

りの夏は過ごしていきたいと思えます。参加させて頂き心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

★★大阪府 三十代 男性★★

今回も大変お世話になりました。印象に残ったことを中心に記します。新山口駅に到着すると、藤永先生と吉田先生が迎えてくださり、あたたかい気持ちでスタートすることができました。会場には、藤永先生と田中義人先生と同乗させていただきました。元氣の里に着くと、同じく鍵山相談役がいらっしゃいました。

【遠くから、少しずつ鍵山秀三郎相談役のお話】  
会場の中で、たくさんの先生方が囲まれる中、鍵山相談役は体調の優れないことを押しままで、先生方のお話に戻事をされていました。職場での反対や嘲笑を受けることやトイレ掃除をするところをどう広げるか、という質問でした。それに対して、「遠くから、少しずつ」を強調されていた。また「自分には才能がない」とおっしゃっていて、「だからこそ、毎日掃除をすることができた」ともおっしゃっていました。どちらも大切にした言葉です。またどうして始められたのか？という質問には、「親に心配をかけたくなか

った」と言われ、鍵山相談役のお人柄が出る言葉だと思いました。

さらに開会前には、当初一〇分のお話とのことでしたが、二〇分を超える時間をお話くださいました。夢や希望、祈りの下には、絶望や破滅、破綻があるとのことでした。その知見の深さに、鍵山相談役の思いを知ることができました。毎回ながら深く心が動かされるのは、鍵山相談役がお話になる最後には、「よろしくお願い致します」とおっしゃることです。それだけ、私たち教師に期待されているお気持ちがあるのだと思います。

【活躍する場所を与える〜仲田先生のお話】

沖繩の仲田先生のお話では、まず校内の様子をみつめるところから始められ、私たちがついつい陥る「ちよつと置いておくこと」に潜むものに光を当てていただきました。ふと職場を思い出してみると、廊下の端、職員室の隅、ごみ捨て場、駐輪場など、毎日通る場所の荒みに気づきます。またその現状を見つめるだけでなく、その荒みを子どもたちや職員とともに片付け、自分たちのアイデアを入れながら、より良くなるように工夫された点にエネルギーを感じました。

またその取り組みを教頭先生をはじめ、先生方が丁寧写真に撮り、ことあるごとに、子どもたちや職員と共有し、価値付けていったことに、成

功の秘訣があると見えました。「三六五日の紙飛行機」に合わせて流れる子どもたちや先生方の活動の様子、特に文化祭でのステージ階段に並ぶ、全校生徒の礼は、本当に美しく思いました。

【トイレ掃除の型にはまることから】

二日目には、興進小学校のトイレ掃除では、トイレの換気扇を担当させていただきました。田中会長から、「トイレに入った時の壁の様子、空気などを感じてみてください」とおっしゃっていましたが、一見、きれいなトイレも壁に手を当ててみると匂いの粒子があるようでした。担当したその換気扇は、長年そうじされておらず、ホコリや虫がこびりついていました。けれど、それを掃除することで絶対に空気がきれいになる、と確信しながら、掃除を始めました。他の方が、便器を掃除する中、下関の綿城先生とともに壁の上の方を念入りに掃除させていただきました。換気扇の横には、網戸がありました。そのネジ山がつぶれており、完全には外せませんでした。念入りに掃除させていただきました。久しぶりに大量の汗を流した後は、不思議と爽やかに感じました。特に印象に残ったことは、トイレに裸足で掃除をしている私たちに、田中会長から「スリッパをはいてください」と言われたことでした。「せつかく一生懸命にトイレ掃除をしても、足にケガを

しては意味がありませんよ」と注意されました。ときに、私たちは型にはまることで、満足してしまいうことがありません。掃除の方法にしてみても、その方法をしみこませることで、大事なことが染みこまなくなることがあるように思います。教室での教師の一言が正論に見えて、子どもたちの成長を阻害していることがあるのかもしれないとも思いました。トイレ掃除から教師塾会場に戻ると、鍵山秀三郎相談役からのあたたかい食事をいただき、また耕心の里では、おそばをいただくことができ、お腹と心が満たされ、午後からの活力をいただいたように思います。

【掃除道は言葉ではないく大谷育弘先生のお話から】

午後からは、鍵山幸一郎先生のお話がありました。その中で、開口一番、私たちに厳しい言葉を伝えてくださいました。この場でも、私たち教師に期待される気持ちがひしひしと伝わりました。本当に背筋が伸びる思いでした。大谷育弘先生のお話では、「掃除道は、言葉ではない」という言葉から始まりました。また「掃除をしても、心はきれいにならない」と続けられました。また六波羅蜜の「布施・持戒・忍辱・精進・禪定・智慧」と掃除道についてのお話。心を動かされました。掃除道に一步足を踏み入れたところから、今

の自分の段階はどこにあるのか。そんな問いが頭をめぐりました。その問いを考えている自分も、また頭で考えているだけであることも、わかりました。とにかく足を動かし、身体を動かすことで、答えが出てくるようにも思いました。

【最後に】

今回も山口の三好先生をはじめ、たくさんの方のお陰で、貴重な経験ができたように思います。鍵山相談役のように命をけずり、労力をつかって思いを寄せる方々がいます。精神をこえたところで、つながる志のある方々とともに、また再会できるまで掃除道を極めていきたいと思えました。ありがとうございました。

★大阪府 四十代 男性★

今年も、鍵山教師塾で尊敬できる方々と共に学ばせていただき、ありがとうございました。講演とそうじの実践を通して、今の私の心に引っかかった言葉は、おめでたい集団という言葉でした。大谷先生が、いつも言っておられる、教師の学んだ気になっただけの自己満足にならないために、実践が伴わないものになっては、いけないの思。いから啓発されている言葉です。

私は、この春、四十四才で、小学校教員となりました。それまでの人生も、人に誇れることもな

く、家庭の責任もなく、社会に大きな責任を持つこともない、非正規雇用の安月給の社会的には、評価されない人間でした。教員となり、収入も安定し、周りの人から、良かったねと言われることがことさら多かったことを覚えています。この国の未来を担う子供たちに関われる仕事として、教師の仕事は、素晴らしい仕事だと思えます。そのことで、周りの方々から良かったね、おめでとうという言葉を送っていただいたことは、とてもうれしい気が致します。しかし、非正規雇用から正規雇用の安定した公務員となったがゆえに、また、社会的に評価される立場になったから、良かったねという言葉を送っていただいたのであれば、それは、違うような気が致します。私の思いは、以前の非正規雇用の思いとは、かわってはいません。むしろ、以前の非正規雇用の立場で、無心に子どもたちのためを考え、そうじをしていた、非正規雇用の学校用務員の私の方が尊いような気が致します。

学校の教師が、子どもたちのことを考えるのは、当たり前です。

それ相応の収入と社会的信用を得ているのです。そうではなく、いかに、見返りのない立場で、社会や子供たちのことを考えることができるのか。考えるだけでなく、継続的に社会に貢献でき

るのか、それが大事な気が致します。

私が教師という立場になり、感じたことは、学校教師の守られた立場。それに伴う、軽い言動です。自分が安定しているがゆえに、教師は、心に余裕があります。教師は、言葉を使うことがうまく、その場をうまく立ち回れます。私への自戒も含めて、教師は、おめでとう集団に簡単になれません。トイレ掃除を素手ですることは、立派なことだと思いますし、悪いことでは、ありません。そして、トイレ掃除できた自分に感動します。

よかった。人ができないことができた。ここで教師の排他的思い上がりがあります。この場にいらっしやった皆さんは、とても素晴らしい方々だと思います。教師が社会人として立派に生きていらっしやる方々、もしくは、未来の日本を担う気概を持つ希望あふれる学生。皆さん、さらにと輝いています。そして、同時に、トイレ掃除をすることで、世の中を変えたいと思い、遠くから来ることができる皆さまです。しかし、トイレ掃除をする自分に酔ってはいませんか。この場には、非正規雇用の絶望感に苛まれた人も、世の中を恨んでいる人もいません。ここに来られた方々は、つらい状況でも苦しい状況でも乗り越えて、がんばっている素敵な皆さまです。ですがゆえに、絶望感に苛まれた人も世の中を恨んでいる

人も入ることができないのです。立派な生き方をしている人たち。そして、世の中を変えたい思いを持つている尊敬できる人たちです。それが故に、トイレ掃除ができる排他的集団になりうる可能性を感じてしまいます。自分は、トイレ掃除ができる。教室のあの先生は、トイレ掃除をしない、できない。あの人は、きれいにできない、きれいにしようとも思わない。だからダメなんだ。あの集団は、トイレ掃除をしない、だからダメなんだ。トイレ掃除ができる私たちは、素晴らしい。もし、そんな風に思いを持ってしまったら、一番の思い上がりの集団になってしまいます。

おめでとう集団にならないためには、一度ばかりのトイレ掃除で思い上がってはいけません。その場で強く未来を、思うことだけでも足りません。世の中を本当によくしたいのであれば、強く思うのではなく、淡々と日々、継続して何かを続けることではないかと思えます。鍵山先生が、人の評価に関わらず、続けてこられたように、世の中を良くする一助となるために、何かを続けること。トイレ掃除もゴミ拾いも立派なことですが、それで、好評価されてしまいます。それをしない人を、それができない人を不当に断罪しては、いけないと思います。

私自身は、人に評価されない見えないところで、



徳を積む人生を歩みたいと再認識致しました。

素晴らしい方々と共に活動させていただきましたこと、本当にありがとうございます。

### ★★大阪府 二十代 男性★★

日差しがジリジリと照り付ける八月。まだ学生という立場ですが、今回も鍵山教師塾に参加させていただきありがとうございます。今回学ばせていただけてまた新たにテーマを自分の中で見つけることができました。「今やる」これが僕の見つけたテーマです。このテーマを軸に体験記を書き進めたいと思います。

#### 一、鍵山相談役

東京と山口は距離にしておおよそ九〇〇キロも離れています。正直体調を考えるとかなり厳しい距離にもかかわらず、鍵山相談役は日本の教師に大きな希望を抱いてくださっているから、今回もわずかな時間のために飛んできてくださったと思うと頭が下がり、背筋がピンっと伸びます。私は何かと失敗をしたくありません。保守的になる部分が多くあります。失敗をしたときの後悔の念が嫌いだからです。この気持ちは私の中で損得を考えた行動にさせる張本人です。行動力が鈍る一つの原因で「今やる」とはかけ離れてしまっ

ています。そんな気持ちを持ちながら日々を過ごしていました。そんな時に相談役が「夢や希望や願いには土台がいる」というお話。その土台が「絶望や破滅や破綻」であるというお話がビビッと来しました。失敗は成功の母であるなど多くの教訓が言葉として残っています。実は分かりきっているようで分かっていませんでした。リスクを背負う勇気がなかなか持てずにいました。しかし、「覚悟から勇気が生まれてくる」と相談役はおっしゃりました。自分には覚悟がなかったと気づかされた瞬間です。覚悟よりも勇気にばかり目を向けていると、勇気を持つているつもりになるのだと思います。教師をする中でも覚悟を持たなければきつと務まらないのだろうし、失敗をしてもいいという覚悟がないと大胆に行動ができず小さくなってしまふのだと思います。

#### 二、仲田先生

「人は毎日見ているものに心が似てくる」  
ああ！と思われました。なんとなく心当たりがあるからです。学生の自分がインターンシップである学校を訪れた時、教室内の掲示物をはじめとして綺麗な教室とそうでない教室では子供の質が違うと感じたからです。仲田先生のお話は学校運営が軸でした。しかし、これってクラス運営にも言えることなので、興味深くってつつい聞き

入ってしまいました。部屋を綺麗に維持できないとき、仲田先生がおっしゃった「とりあえずが残っていく」がまさしくビンゴ過ぎました。今も自分の部屋を見渡した時、とりあえずがその物の居場所になってしまっています。学校でも必ずしも全員がかたづけはしません。そこから徐々に悪循環に陥ることも。物の置き場には住所を。と仲田先生は言いましたがまさしくその通りです。学校は子供が成長する場です。物はきれいに並べて美しい環境の中で学んでいってもらいたいと思います。ですが、教室がきれいで個人の質が高いだけでなく、集団として、全体の質も高くあることが学校でのテーマの一つだと思います。その点、仲田先生の学校づくりは勉強になることが多く、自分が教師になった時にまずはクラスづくりからでも試したいと思えました。

#### 三、トイレ掃除

今回もトイレ掃除ではたくさんの方の力があって、体一つで学ばせていただけました。ありがとうございます。今回はグラウンドにあるトイレをさせていただきました。「外のトイレは掃除したことないよ」ちらっと聞こえたこの一言にビビりました。実際にはかなり気合が入っていて風の噂の通りでした。小便秘、大便秘、手洗い場が一つずつ。しかし、あまりの気合の入りように終

わりませんでした。今回感じたのは、「今やる」でした。この鍵山教師塾で見つけたテーマです。今日の前の汚れに向き合う。見つけたものは損得なしに今やる。これがなかなかできていませんでした。トイレ掃除はわかっているようでわかっていることをよく教えてくれます。すぐ目移りしてしまうのも普段のあらわれか。もつと「今」という時間にこだわらないといけないと思いました。

#### 四、大谷先生

掃除って深いなー。そう感じました。掃除は世界共通です。宗教や思想をも超越する真理があるものなのに、学校現場で正しく指導できなければ意味がないし、目の前を綺麗にすることで感性も磨かないともつたないです。しかし、僕の経験上こんな話をしてあまり相手にされません。もつと実践する必要があると思うし、ゆくゆくは何も言わずとも体からにじみ出てくるくらいへとなりたいたいです。まず掃除道を極めるためにスタートをしなければいけません。とことん自分と向き合っていきたいと思います。

今回、六波羅蜜のお話を伺いました。僕は相談役のすべては知りませんがまさしく話に聞くところの教弾薬の人生です。相談役の生き方には美を感じます。六波羅蜜は平安時代からあるそうで

す。そんなにも昔から美意識のある人生を言われているのだから六波羅蜜の考えは素晴らしいと思います。果たして自分は今何番目でしょうか。世の中にはたくさん当てはまる人がいます。そんな方々くらいに継続をしていかないといけないと思います。

今回山口ではご講演してくださった先生、またそのほかの多くの先生方からたくさん力をいただきました。先生方の一言、表情と何から何まで刺激的でした。大変勉強になりました。ありがとうございました。ございました。

#### ★大阪府 四十代 男性★

##### 【学びはすべて実践のなかにある】

鍵山教師塾を通じて、私は初めてそう確信できるようになりました。これまで、お世話役の方々の目に見えぬご苦労に甘えて、参加すること十一回。いつまで経っても頭脳先行型のまま、気がつけば「先生」と呼ばれるのも、あと十年を残すばかりとなりました。このような「超」がつくほどの劣等生の私にも、ようやく進むべき方向が見えて参りました。これは、ひとえに鍵山秀三郎先生のおかげであります。本当に有難うございます。参加したばかりの頃の私は、鍵山先生やその他

の講師の方々のお話を、初めは細かくメモして、生徒さんや同僚の皆様にお伝えしたり、ノートなどに清書して常に自戒したりして、自己を改革しようと思えました。そして、それで分かった気になっていました。しかし、実践に乏しく、長続きもせず、いつの間にか「攀念痴」の呪縛に囚われていくというのが、いつも思考の流れだったように思います。客観的に見て、それがこれまでの自己の実情であったかと存じます。

喉が渇くたびに飲む清涼剤―結果として、それが私にとつての鍵山教師塾でした。せつかくの鍵山先生の粉骨碎身のご教授にもかかわらず、その程度にしか動いていない自分自身に、悔しさや恥ずかしさ、焦りを感じるばかりでした。本当に申し訳ございません。

しかしながら、そんな私でも、参加の回を重ねるうちに、否応なく思い知らされるようになりました。すべての学びは実践を源にしているのだと。実際、これまでの鍵山先生からの学びには、言葉がひとつもありませんでした。もちろん、書き留めたメモには先生の大切な言葉があふれています。けれども、常に脳裏に浮かぶのは、鍵山先生のお言葉ではなく、先生の丁寧な一挙手一投足の残像であり、お話しぶりであり、立ち振る舞うそのお姿です。その残像こそが、日々魂を震

わせる感動の源泉であり、私自身の日常生活のお手本なのだと痛感するようになりました。

今回も、鍵山先生は、私たちに何かを伝えるため、たった十分のお話のために、東京から山口県の会場まで空路お越しいただきました。お身体の状態からして、早朝から飛行機で、まさにとんぼ返りの強行軍は、無謀でしかありません。私がその立場だったとすれば、到底できません。

にもかかわらず、ご足労賜りました鍵山先生。それだけ身を削って伝えたいことがあるのだ、という先生の想いを、果たして私は自己のど真ん中で受け止められているのだろうか。まったく着席されることなく、一〇分どころか二〇分以上お話しいただいた没我没入のお姿に触れ、私はその御恩を社会にどう還元できるのだろうか。これからも、悔しさや恥ずかしさ、焦りを感じながら、少しでも社会のお役に立てるように、前進していくほかありません。

また、今回の講義におきましては、大谷育弘先生から、いみじくも「言葉」と「実践」の関係について、ご指導をいただきました。常日頃から、「実践」がなければ、ただの「学びオタク」だと仰せになる大谷先生ですが、今回は逆に「言葉」の大切さをお教え下さいました。

●肝に銘ずるべき格言や生徒に伝えたい美談、

人生の杖となる知恵、それらは所詮「誰かから」借りてきた言葉」に過ぎない。ただの能書きに過ぎない。にもかかわらず、学級通信やホームページなどの場で教師はそれを生徒さんに伝えて、偉くなった気になってしまふ。この錯覚は人として相当に危険な状態である。

●だけれども、かと言って、「言葉」を発信することを放棄するのも間違い。人が人に何かを伝える際に、どうしても「言葉」は必要不可欠なのだ。

●ただし、その「言葉」がすんなりと腑に落ちるのか、それとも懐疑的にとられてしまうのかは、その人の「実践」次第だ。「あの人の言うことなら納得できる」「あの人が頼まれたら断れない」という風に、私たちは「何を話したか」ではなく「誰が話したか」により、正誤の判断をしている。

●だから、大切なのは「実践」と「言葉」の両輪をいかにバランスよく転がしていくか、ということだ。そうして、教師の一人ひとりが「頼まれたら断れない」「納得される」存在となり、周囲を感化していけるようになれば、日本の教育現場はどれだけ明るくなるだろう。

●そのために掃除は非常に大切。掃除は言葉ではないから。掃除は（どんな汚れであろうと）すべてを受け容れるから。そういう意味では最高の

「実践」である。しかし、人知れず掃除をして、ピカピカさせたことに自己満足をしているだけでは、ただの「掃除オタク」に過ぎない。その「実践」を周囲に広めていってこそ、本当の「実践」。そこで必要となるのが「言葉」の発信である。

「盥水」を回せるようになるまで、己という「箸」を動かし続けたいと思います。末筆ながら、鍵山教師塾 in 山口のお世話をして下さいました佐古利南先生、三好祐司先生に心より御礼申し上げます。かけがえない学びをいただくことができました。有難うございました。

★★兵庫県 四十代 男性★★

今回の教師塾は、鍵山相談役や佐古先生、仲田先生他多くの方々から何を感じ取ることができるのかを試されていた教師塾だったと思います。

教師塾の三日前に義父がなくなりました。私の元に連絡が入ったときすでに危篤の状態でした。すぐに妻の勤め先に連絡を取りました。実家に帰るのに時間がかかるので、「とにかく先に行くように」と言いましたが、「一緒に行ってほしい」と言われ、結局、何も持たずに家族全員で向きました。最初の連絡から一時間以上が過ぎていま

した。そして途中のサービスイリアで最期の報せを受けました。五年の闘病生活でした。通夜、葬儀とすべてを見届けました。そして、新幹線に乗って教師塾に参加させていただきました。この夕イミングで行かせてもらうことの意味が自分にはあるのだと思います。

今回の教師塾では、思いもかけず、相談役と直接話をする機会をいただきました。会が始まる前に休憩されていたときのことです。そのときに、新しい学校に変わり、意気揚々と取り組もうと思いい、便教会を開いたのですが、突き上げを喰らうてうまくいかなかったという話をさせていただきました。相談役からは、「抵抗に合うということとは、やりたくない人が抵抗するんですね。これはどこでも同じですなですね。そして、そういう場合は、『遠いところから、小さいところから、弱いところから』するんですよ。トイレにこだわらず、外回りから始めるんですね。雑草を抜くとか、周辺の掃除とか。そして徐々に中に入っていくばいいんですよ。」と教えていただきました。できないことに心を囚われ、自分が責められることに囚われて、なんだか八方塞がりになってしまっていた答えを見つけた気がしました。「できることから始める」今までに何度も聞いてきた言葉ですが、実感を持って腑に落ちた気がします。ど

んな些細なことでも始められるということ  
は、無限に方法があるということだと思えます。  
そしてこのことは、教師を救う道だと思えました。  
たくさん課題を抱え、時間に追われる教師の世  
界で、心が折れてしまう同僚や後輩を数多く見て  
きました。自分で自分を責めてしまつて、自分を  
追い込み、子どもの前に立てなくなつてしまいま  
した。それを防ぐのは、「掃除」だと思います。  
掃除の五徳といわれますが、掃除にはそれ以上の  
力を秘めていると感じます。そして「道」に深め  
ていくことが生きている時間を使うことだとも  
感じています。

また、仲田先生の発表からは、置かれた立場で  
取り組めることの大切さを改めて感じました。現  
状をとらえ、できることを一つひとつ取り組んで  
いく、当たり前なのですが結局近道はないと確か  
めることができました。

「感じる」「察する」「気づく」：言葉は違ひ  
ますが、教師はこの力をいかに高めることができ  
るか、それが子どもたちや自分の周りをよりよく  
していくと思います。大谷先生が発表の中で、「誰  
が」言ったのか「誰が」したのが重要なのだと  
おっしゃいました。時間がかかることですが、こ  
の力を教師が高めることが、その学校でなくては  
ならない先生になるのではと感じました。「今、

ここ」でできることを感謝して取り組む、義父の  
死を通してより強く「今、ここ」の大切さ、深さ  
を感じます。

最後になりましたが、佐古先生、三好先生をは  
じめ、山口の先生方にはお世話になりました。あ  
りがとうございました。

★★兵庫県 四十代 男性★★

鍵山教師塾に参加させていただき、ありがとう  
ございました。今回は鍵山相談役が来て頂けると  
聞いていたので、是非参加しようと思っていたの  
ですが、工作上、懸念されることがあり、参加の  
意志を決めかねておりました。何かあれば、仕事  
場から離れた山口県にいたため、誰かにお願いを  
し、対応してもらわなければなりません。その思  
いが躊躇させる原因でした。そんな時、米村先生  
から私の課題として「遠慮」があることを諭され  
ました。心を決めて参加の申し込みをしました。  
そうすると、できるだけ迷惑のかわらないように  
事前にすべきことがはっきりとできました。難  
しいと思っていたことも工夫できるアイデアが  
浮かび、解消できました。そこまできると鍵山教  
師塾の最中に何事も起こらないという確信が出  
てきました。行く前から大きな学びをいただきま

した。

到着し、控室で鍵山相談役にご挨拶をいたしました。椅子からお立ちになり、いつもと変わらぬ笑顔で迎えていただきました。「もったいない」という言葉しか出てきません。

いつもと変わらないお言葉や口調の中に、講演の時間は一〇分という制約から生まれ出るであろう、「気負い」や「焦り」「もどかしさ」といったものを感じることはありませんでした。日常や今という時間を大切に生きてこられたからこそできることなのだろうと思います。講演の内容もさることながら、そのお姿に学びをいただきました。

中原先生の実践報告は私の心を振り立たせました。道を求めて訪ね歩く熱い思いに感動しました。そして、学びオタクにならず、地に足をつけて実践をされていることが素晴らしいと感じました。

二日目のトイレ掃除は嬉しい時間でした。初めて出逢う方々、その中には、思いを同じくする山口県の掃除に学ぶ会の皆様、山口県の先生方、興進小学校の職員の方、保護者の方、そして児童がいました。実に多くの「異質な背景」をもった人たちがトイレ掃除を通して、「同質の価値観」を味わうことができたのです。掃除には「調和」を

もたらす力があることを実感しました。

大谷先生の話には迷いが一切ありませんでした。物事の本質、真理をついたお話から、実践すべきことは実は簡単なことなのだとわかります。しかし、それができないのが人なのでしょう。私も間違っているとは頭でわかっているものの、言い訳を自分でつくり、真理から遠ざかっています。日々の生活、一つひとつの所作から人は作られます。今一度、毎日の生活の在り方を問う必要があると反省いたしました。

今回、山口県をはじめ、様々な地域の方と交流することができました。このご縁を大切にしていきたいと思います。佐古先生、三好先生をはじめ、お世話いただいたスタッフの皆様感謝いたします。ありがとうございます。

★岡山県 四十代 男性★

鍵山教師塾には初めて参加させていただきました。先生方の学ぼうとされる姿勢に刺激をいただきました。この会を運営されるにあたりたくさんの方々が準備を下さり、ご用意をいただいたことに想いを馳せながら参加させていただきました。二日目の昼食後、幸一郎様よりご指摘をいただきましたように、教えるべき立場の人

間がまず周囲を見て気づいて自らが実践せねばいけません。学んでいるつもりになってはいけません。ハツと気づかされました。大谷先生のお話でも掃除をしても心はきれいになりません。というお言葉も同じであると思います。掃除を通して何を学ぶのか。自分自身の心に気づき、その時々に必要なものに気づき自分を成長させていくことが大切であるということです。見えていないものに目を向け、見ようとする。できないことを少しでもできるようにしていく。その積み重ねで様々な困難が降り注いでくるがそれは必然であり、乗り越えることができるからこそ目の前に現れてくる。今現在の私も様々な困難なことがあります。必然と考え一つずつ乗り越えていこうと思います。

会の終了後、仲田先生とお話をさせていただきました。機会がありました。その中でリーダーの条件として三つを挙げておられました。

- ① バイタリティー
- ② 楽観的
- ③ 学び続ける

私は仲田先生、三好先生というリーダーの共通している部分は②楽観的ということではないかと思いました。私に足りないことでもありま

す。なんとかなると肚を決めることが迷いなく物事を進めていくことよって繋がっていくのだと確信いたしました。鍵山先生にはお会いできませんでしたが、お電話でお話をさせていただきますました。具体的に三つのアドバイスをいただきました。

① 教室の隅の方からきれいにする

② 動かせるものは動かしてきれいにする

③ 教室の入り口をきれいにする。

このことをしつかり実践していきたいと思えます。学んだことをそのままにするのではなく、実践していきたいと思えます。一緒に学ばせていただきました先生方のおかげで多くの気づきと学びをいただくことができ感謝しております。また、この会の際しまして鍵山先生をはじめ多くのご支援を賜り感謝申し上げます。素晴らしい環境の中で学ばせていただきありがとうございます。

★★兵庫県 三十代 女性★★

【良知を体現する】

私は二日目から参加させていただきました。

興進小学校着き、誘導をさせていただいている

ときに、日本を美しくする会の阿部豊さんが、校

庭に植えている木に、つる状の植物が絡まっていたのを見て、すぐに取ろうとされていきました。「このままにしておく、木が枯れてしまう」と、しやがみこんで根っこを抜かれていました。そのときに、木で腕に大きなひっかき傷が出来ていました。しかし、阿部さんはそれを気にされることなく、どんどんとつるを取っていかれます。

私はそれを拝見して、阿部さんは、掃除が、生き方の中に染み込んでいる方なのだと思います、感動しました。

トイレ掃除のときには、リーダーの方に、テキパキと指示をしていただく中で、自分が主体的にできていないことに、反省しました。

トイレを磨きながら、ふと私はずるい生き方をしている、と思いました。なぜずるいと思ったかという、一つは、全て道具を準備してくださった方がいて、取りまとめてくださった方がいて、その上でさせていただいていることなのに、今まで「いいことをした」「何かに気づいた」などと、いい気になっていた自分がいたことが急に体の中に入り込んだからです。すぐく恥ずかしい気持ちになりました。また、自分は何十年も毎日トイレを使わせてもらっていて、そのトイレを自分できれいにしてきはいなくて、今磨いているトイレも、毎日掃除はしてもらっていただろうけれど、

何年もかけて汚れをためてしまってきたのに、自分がたった一時間ほど掃除させてもらっただけで、その何年もかけた汚れを、なかったことにしようとしているのか、と思うと、ひとりではんばってきていたトイレに対して申し訳なような気がして、ずるいことをしているような気がしました。だから、便器に、「ごめんね、ありがとう、と思いつながら掃除をさせてもらいました。この日、私は初めてトイレをお借りして磨かせていただいている、という意味が体に入ったような気がしました。

自分は、今までもこんなふうに勘違いをして、ずるい生き方をしていたのではないかと思えます。だから、自分はトイレに喜んでもらうような掃除をこれからしようと思いました。そして、いつもトイレ掃除に向き合えるように準備をしてくださっている方々への感謝を忘れないようにしようと思いました。

お昼には美味しいお弁当やかき氷やおそばをいただき、あつたかい気持ちになりました。人のことを想い生きていらつしやる方々に囲まれて、心を磨いていただいたような気がしました。

午後からの実践発表の前に、鍵山幸一郎さんからお話を伺いました。「知ってしまった使命」がある、というお話に、私はその使命から逃げない

ようにしようと、小さく心の中で誓いました。そして「わかったふり」もしてはいけないと思いましたが。まだ私は、自分のレベルでしか知ることができていません。でもきちんとその使命を果たせるように、実践をしていきたいと思いました。

大谷先生の発表では、鍵山先生の掃除道は菩薩道だというお話を伺いました。私にはまだまだ実践・覚悟、ありとあらゆるものが足りていません。でも自分が今どの段階に居るのか、自分で感じられるくらいに、自分に矢印を向けて活動していきたいと思いました。

自分の中の「良知」が自分の中から出てくるように実践していきたいと思います。

鍵山相談役の生き方に、少しでも沿えるように、正しい生き方をしていきたいと思いました。そして、子どもたちの良知を引き出せる教育者になりたいと思いました。

鍵山教師塾に関わるすべての皆様への感謝を忘れず、二学期からも自分の場所で実践していきたいと思います。参加させていただき、ありがとうございました。

★★三重県 三十代 男性★★

【想いに触れる】

第十一回鍵山教師塾 in 山口に参加させていただきまして誠にありがとうございました。朴の森という素晴らしい会場、全国各地から集まって来られた仲間、素晴らしいチームワークで当日までの準備から当日の運営まで行っていた佐古先生、三好先生をはじめ山口の先生方、そしてほんのわずかな時間のためだけに東京からお越しいただきました鍵山秀三郎先生。また私には見えないところできつと多くの方々のお力の下でこの鍵山教師塾が開催されたのだと思います。そのような想いの込められた場所、仲間とともに素晴らしい学びをさせていただけたことに心より感謝申し上げます。

【想いを感じる】

鍵山先生の講話、佐古先生のお話し、仲田先生、中原先生の実践発表どれも心に響くものばかりでした。一人でずっと我慢しながら実践を続けられた鍵山先生、学校の荒れ、生徒の荒れに直面しながら、それに逃げずに向き合い続けられた先生方。皆様に共通していることは「想い」。だからこそ逃げずに今まで続けられてきているのだと思います。まずは自分自身のために。次は周りの家族のために。その次は関わっている方のため

に……。その輪が広がっていけばいくほど幸せが広がっていくように思います。

そして、最後の交流会ではある方との出逢いがありました。山口県の藤野先生との出逢いです。藤野先生は高等学校で数学を教えられています。私も数学を担当していますの、すぐに意気投合させていただきました。そして藤野先生から衝撃的な言葉をいただきました。

「数学と掃除って似ていると思うんです」

数学者に岡潔先生という方がおられます。その方の言われておられることと鍵山先生が言われておられることが繋がるんだというお話をたくさんしていただきました。今まで考えてもいなかったことの連続でした。これからもっとと深めていきたいと思っています。

【想いを映す（実践する）】

たくさんさんの学びがありました。本当にお腹一杯になり三重に戻りました。しかし、実践が伴わなければ何も意味がありません。この鍵山教師塾に参加させていただき、多くの方の想いに触れ、多くの方々の想いを感じる事ができました。普段味わうことができない何ともいえない「あつたかい空気、雰囲気」を感じることができました。まさしく自分の帰るところ、原点を感じました。では今の自分にできることは何なのだろうか。

三重の地で、そして自分の持ち場でできることは何なんだろうか。伊勢便教会、月末の修養団の齋田さん、板倉さんとのゴミ拾い：仲間がいるからやれていることはたくさんある。自分一人になつたとき本当にやっていることに「想い」をのせてきているだろうか。「形式的」なものになっていないだろうか。「やっただけ」で満足してないだろうか。もう一度自分自身の足元を見つめ直したい。もう一度自分自身の周りにいる方々のありがたみを感じたい。そんなことを感じた第十一回の鍵山教師塾でした。

最後に今、自分自身が感じることを綴ってみたいと思います。今、世間で言われる進学校で勤務し、野球部の顧問をしています。東京大学をはじめいわゆる難関大学に合格することや甲子園に行くことが善しとされています。果たしてそれが将来生徒の「倅せ」に繋がるのか今の私には正直分かりません。「合格」した生徒や「甲子園」に行った生徒は素晴らしい。ではそうでない生徒はダメなのだろうか？誰もダメとは言いませんが、スポットは当たりません。「特別なこと」を「出来た」生徒だけが素晴らしくて「出来ない」生徒はダメな生徒なのだろうか。同様に、「特別なこと」をできる先生が「素晴らしい」先生で、そうでない先生はダメな先生なのだろうか。

私は本当の倅せは目の前に、日々の日常の中にあると思います。毎日何かに取り組むこと、それを通して「出来ないこと」が「出来るようになる」ことに気付くこと。我々教師がそういう視点を持つことで救われる生徒は出てくると思います。仲田先生の最後のお話しにあった全校集会で流されるDVDの中の生徒は輝いていました。その生徒の目の輝きを見させていただき、本当の「倅せ」について考えさせていただきました。ありがとうございました。

ありがとうございました。

★★長崎県 五十代 男性★★

今回は第三回以来の参加となりました。最後の参加から約二年間が経過しており、久しぶりの参加となりました。大変懐かしい同志の先生方の姿を見た時はとても心がわくわくしました。以前と変わらず温かく接していただき感謝しております。今回も教師塾で多くのことを学ばせていただきました。

【鍵山相談役の強い思い】

鍵山相談役が倒れられ、リハビリ中で体調が思わしくないにもかかわらず、それでもこの会のみんなのためにお話をされる。命を削ってまでも私たちに伝えようとするところに心打たれました。

約二〇分のお話のために準備をされ、飛行機に乗って遠路はるばる山口まで来られて、またすぐとんぼ返りをされる。強い思い、志だけでなく、そのパワーも強く感じられます。こう考えるとやはり人間は年齢に関わらず、意志の強さが大切なのだと強く思います。その思いのこもったお話、さらにはDVDから多くのことを吸収しようと拝聴させていただきました。特に心に残ったのは次の三つです。

まず、以前、掃除をしている鍵山相談役が「そんなことが何の役に立つのか」と言われた時に、鍵山相談役は「生まれたての赤ちゃんは役にたたないよ。」と答えられたということです。みんな始めは生まれたての赤ん坊、その赤ん坊が何かの役に立っているかというその時点では、何の役に立っているのかわからない。しかし、その赤ん坊が将来、どれくらい世の中のために貢献できるかなどもわからない。どんな偉人も始めは赤ん坊なのである、とおっしゃられた。このことがとても印象に残っています。一見、掃除が何かの目標達成に直接関わっていないように見えますが、ぶれない信念を持つて続けることでいつかは目標や目的を達成できることにつながるということを教えてくださいました。

次に「人の全ての不幸は、不足することからは



始まらない。あり余ることから始まる。」  
ということが心に残りました。確かに私もそう思  
います。最近の子どもたちや保護者、大人を見て  
いると物があり余っていて、何不自由ないと思わ  
れるのに、何かと文句や苦情を言ってくる人が増  
えてきたように思います。また、できることをな  
かなかしようとしなないことも見受けられます。そ  
のような人は自分のことを幸せだとは思ってな  
いでしようし、さらにその人たちに文句や苦情を  
いわれる人も幸せを感じてはいないと思います。  
今の日本にはそのような人がとても増えていた  
ように思います。以前は見受けられなかったよう  
に思います。自分はどうかと考えさせられました。  
三つ目は、「百萬典経 日下の灯」という言葉  
です。百万本のお経を読むほど勉強したところで  
実践しなければ意味がない、太陽の下でろうそく  
の灯りをつけるようなもの、いくら知識を持って  
いても実行しなければ意味がない、今得ている知  
識をどう使うか、実践していくかが重要である、  
ということが私の心に刺さりました。今の自分は  
理論や考え方、心構えばかり勉強して、実践はや  
っているだろうか、行動しているだろうか。今の  
置かれている自分の現状を憂い、それをできない  
理由にして、行動できてないところはなないだろ  
うか。とても考えさせられました。

#### 【仲田校長先生の実践から】

仲田校長先生は困難校といわれるところに赴  
任し、そのたびに学校を変え、子どもたちを変え  
てきました。学校を花いっぱいにし、子どもたち  
の心を少しずつ変えていき、学校を変えていかれ  
ました。揺るぎない信念を持ち、子どもを信じて  
実践していきました。信じてぶれない心、そして  
やり続けることの大切さを感じました。「生徒は、  
自分がこの先生から大切にされているかどうか  
みている。」という言葉が心に残りました。

#### 【トイレ掃除を行って】

今回は、便器、尿こし以外の細々したところを  
担当しました。これまでやったことのない換気扇  
や掃除道具入れなどを掃除しました。今までは、  
便器掃除に長い時間をかけてしつかりと向き合  
うことで、これまでの自分の学級の子ども、自分  
の対応などを振り返ることができました。今回の  
掃除での一番の学びは全体を見ることの大切さ  
です。自分の担当を掃除しながらも、周りのみな  
さんの掃除の様子が見えました。特に今回は初め  
ての人が多かったので、周りが見える分、その人  
が次にするであろう行動を予測し、必要に応じて  
サポートしたり、見守ったりできました。また、  
リーダーやサブリーダーががんばっている姿は  
とても勉強になり、さらには便器に向き合ってい

る初心者の方々を間近で見ることでも自分もしつ  
かりとがんばらなければと気を引き締めること  
ができました。これまでのトイレ掃除では、便器  
としつかりと向き合う事ができた反面、自分のこ  
とばかりで周りのことまで気配り目配りのでき  
ない自分がいたことがわかりました。そこに気づ  
くことができ、大きな学びとなりました。

#### 【大谷先生の発表から】

大谷先生の話はいつもまいなあと感じます。  
本題とはあまり関係のないような話題から入り、  
話しているうちにだんだんと本題に入り、最後は  
始めから最後までが全部つながって締めくくる。  
とてもまねのできない話術だと思います。これも  
実践をかなり積み、思いを込めているのででき  
るのだと思います。今回は特に「掃除をしても心は  
きれいにならない、立派な人間にはならない。」  
という言葉が心に残りました。大切なのはどうい  
う気持ちでやるのかだということを感じました。  
余談になりますが、朴の森では鍵山相談役の  
日めぐりと「一日一話」という本を買いました。  
おそばをいただいた後、見学をした時にどうして  
も欲しくなったので購入しました。読書が苦手な  
私にとっては、鍵山相談役の考えを一遍に吸収す  
るのではなく、毎日少しずつ学び、吸収していく  
方が向いているのかなと思ったのです。凡事徹底

の気持ちで続けていこうと思えます。

最後に、今回の開催にあたり、企画、準備、運営等多くのことに、佐古先生、三好校長先生を始め、山口の先生方、日本を美しくする会の皆様、朴の森の皆様、スタッフの皆様にご尽力いただきましたおかげで、多くのことを学ばせていただきました。深く感謝しております。本当にありがとうございました。ありがとうございました。

★★★大阪府 三十代 男性★★★

一、行動、生き方を感じる

「鍵山先生が一〇分の講演会のために、命を削られて来てくださった。その生き様を学ばなければ、いくらトイレ掃除をしても、はがきを書いてもしにならない。もう、時間がない」  
衝撃を受けた言葉でした。

私はその言葉を聴いても、まだまだ甘えているところがあります。

「知ってしまった以上、伝えていかなければいけない。使命感をもって行動してほしい」  
とも、伝えてくださいました。

様々なお言葉を聴いても、私自身のコップが上を向いていなければいけません。しかしながら、自分自身では上を向いているつもりでも、まだま

だ浅はかです。

行動に没入して取り組むことで見える世界があるのかもしれませんが。私は没入するまで掃除やはがきを書いたことはありません。日常生活の中で、どれだけ自分の決めたことをやっていくのか、やっているのを知っているのは自分だけ。

二、やるか、やらないか

日本全国から多くの先生方が参加されました。みなさん、高い志をもたれ、今回さらに強いものにされているのを、ともに学ばせていただく時間の中で感じておりました。鍵山先生がそうあるように、決意を強く誓った人が、実践行動の人になっていく。私自身そうなりたいと思っておりますが、何かにつけて行動にブレがあります。自分で気付いておりながら、弱く甘い自分が顔を見せてしまいます。鍵山教師塾に参加し、そんな弱く甘い自分の襟を正していただいております。もう何度もこうして正していただいているにもかかわらず、まだまだ未熟で、まだまだ心磨きが必要で：今回また、自分の気持ちをフラットにしてもらえました。自分にはこうしてムチを打っていただく機会があることに、感謝の気持ちでいっぱいです。こんなにも近くで学ばせていただいている分、どんどん自分の中へ吸収できるよう、凡事徹底励みたいと思います。決意を新たにさせていただきます、

ありがとうございました。志高き方々に出逢えたご縁に感謝します。

三、見えないものを見れる、感じれる感性を。

今回一番感じたものが、見えない場の雰囲気です。そこにいると落ち着く・元気になる・姿勢が正される、そうしたものを身体が感じてくれました。見て聞いて知ったつもりになるのではなく、その場に行き、感じれる人になりたいです。小さなゴミを拾うことから、そしてそれをやり続けていき、自らの感性を高め軸をつくります。軸をブラさないためにも、人のために動ける、人の思いに寄り添える生き方をしていきます。こうして文章に書くとは簡単なことだけど、日々実践することは難しく感じていきます。自分の我が先行してしまったり、思うようにことが運ばないと気が滅入ってしまったり：簡単なことを純粹に続けることこそ、大切に歩んでいきたいです。

最後になりましたが、今回、朴の森で鍵山教師塾を開催され、参加させていただきました。佐古先生はじめ先生、朴の森の皆様、日本を美しくする会の皆様には多大なるご支援をいただきましたこと、ありがとうございます。

★★奈良県 二十代 男性★★

今回、改めて「人との縁」の有り難さを感じる時間を頂きました。それはそんな場へ足を運んだからこそ感じられることだと思えます。「朴の森」という素晴らしい環境のもと学ばせて頂いたことにまず、心より感謝したいと思います。同時に当日に至るまでの準備、進行、そしてその後の後片付けまで、見えないところで運営に携わってくださった方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

鍵山先生が私たちに言葉でも姿勢でも想いを届けてくださっていることに、自分はどんなことができるのか。何を感じ、何を学ばせて頂いているのか。「何を」は自分で感じ、自分で考え、実践を積み重ねていく中で力に変えていかなければいけない。今回も志ある方々と出会い、時間を共有させて頂く中で刺激も頂きました。実践家の皆様の発表、自分にもできる実践は何か、今をもっと大切にしなければいけないこと、今しかできないこと、たくさん考えました。そこには鍵山先生の想いがまずあり、その氣ある中での学びだからこそ気づいたことです。また自分の肩に力が入っていることにも気づきました。仲間とかかわる中で安心と、もつと力を抜いてやっていって大丈夫だよと言ってもらえたような感覚になりました。

た。

二日間を通して、自分にとっての大きな気づきの一つは、「それでいい」という受け入れることです。特にトイレ掃除をしているときに気づきが深まりました。同じ班でサブリーダーをされていた久保先生のお姿、あり方からの気づきです。トイレ掃除をしている中で、掃除のやり方や順序、こうするべきだ、こうしないといけない、この方がよい、などもしかかするとベストの方法はあるのかもしれない。自分自身もそんな感覚に陥っているときがあることに後で気づきます。学校で子どもたちを目の前にしているとき、効率の良さややり方などを教えすぎたり、する前からこの方法がいいよ、こんな方法があるよ、と言っていたり。これでいいですか？どうやってすればいいですか？と聞かれると、すぐ答えを教えてくださいている自分がいます。今回の実習の中で久保先生はすべてを受け入れてくださっていました。そして質問に対しては、「それでいいですね」と答えを教えるのではなく、背中を押してくださいました。否定や違う方法をすぐにいうのではなく、背中を押してあげること自分で考える。何度かそのやり取りをする中で気づきました。リーダーたるものの姿勢、大きな学びでした。

私にとって有難い時間、気づきを頂く時間、考

える時間、刺激を頂ける時間。ご縁頂き本当にありがとうございます。

★★兵庫県 五十代 男性★★

今回、鍵山相談役が行動で示されたこと、語らずとも背中であえてくださった教師への大切なメッセージを心に刻みます。

教育の力が弱まってきている現在において、「掃除道」の持つ力を教育現場に活かすことも大切なことであり、教師の役割は大きいと感じました。そのためには教師自らが危機感を感じ、使命感を持って下坐行に取り組むこと。矢印を自分に向け、学びを日常に活かすことです。

しかしながら、結果も要求され、結果を出したい(我欲)との葛藤もあります。そこで掃除を下坐行としてとらえた時、結果と掃除の関係は次のようなステップが考えられます。

- ① 最も簡単な方法により結果を得たいと思う。
- ② 本当に結果を得るには、日常の掃除(鍛錬)が重要である。
- ③ 日常の掃除(鍛錬)が重要ならば、結果のいかんよりも、日常ということが問題になる。
- ④ いつでも掃除(鍛錬)するということならば、掃除(鍛錬)しているという意識がなくなっ

てくる。

⑤ 掃除（鍛錬）しているという意識がなくなれば、結果という意識もなくなってくる。

この領域までたどり着くためには継続するしかありません。これはすべてに通じる真理です。もし途中で結果が出てしまった時は要注意です。今回仲田丘先生の講話の中で、特に校長講話が心に響きました。子ども達の普通にある一生懸命を取り上げられ、大切にされていること、子ども達への愛情が溢れんばかりに伝わって参ります。大切なメッセージがさりげなく挿入されており心に染み渡りました。

仲田先生とじっくりとお話をさせていただく中で、今回の最大の学びをいただきました。

「リーダーの要素、『楽天的』」  
常に『楽天的』をキーワードに日常を送りたいと存じます

最後になりましたが、佐古利南先生・三好祐司先生を中心に山口の先生方にはたいへんお世話になりました。心より感謝申し上げます。今回、山口に灯った種火を、若手の先生方を中心にメラメラと燃えるものにして下さい。ありがとうございます。

★大阪府 二十代 男性★

この度、第一一回鍵山教師塾に参加させていただき、多くの学びをありがとうございました。

これまでも鍵山教師塾には参加させていただいておりましたが、今回の鍵山教師塾では強心に突き刺さるものがあり、自分の中の一本の柱が立ったように思い、これまで以上に感じる場所がありました。

鍵山先生が一〇分のお話のために東京より飛行機に乗り、来ていただいたこと。このことをどのように自分は感じるのかと行く前からすごく思うところがありました。それは、今回の鍵山教師塾に向けて、大谷育弘先生が鍵山先生の様子であったり、朴の森に来られる時間、何分話される、何時に帰られるなどメールを通じて私たちに伝えてくださったことから始まっているのだと思います。もしその連絡を私が皆さんにしていたのであれば、ただの事務連絡になると思います。しかし、鍵山先生を師と仰ぐ大谷先生だからこそ、鍵山先生の想いをそのまま私たちに伝えてくださり、しっかりと心まで伝わってきているのだと思います。普段から私はそのような環境で日々を過ごさせて頂いていることにまずは感謝しないといけません。そのような前段階があり、鍵山教師塾に参加させていただきました。鍵山教師塾が始

まり、鍵山先生のお話をお聞きしました。本当であれば、立つことさえままならないはずなのに、そのことを一切私達に感じさせることなく、お話をされ、ホワイトボードに文字も書いていただきました。どんなことを話されるのだろうと聞く自分もいましたが、正直なところお話いただいた言葉よりもなにより、前で凜と立たれお話をされている鍵山先生のお姿がとても印象に残っております。そのお姿は、一番後ろでお聞きして私は、鍵山先生の炎が燃え上がっていて、その炎が参加者一人ひとりの心に燃え移っているように感じました。一〇分のところ、二〇分を話された時には会場全体の人の心に鍵山先生の炎を移されておりました。移すというより映すという印象です。まだまだ火のついていない教師の私たちに火を灯すためにお越しいただいたのかもしれない。だからこそ、大谷先生が「時間がないんです」とおっしゃられたり、必死になって伝えてくださっているのだと思います。そう考えると必然と自分の今することが見えてきますし、身体も動いてくるのだと思います。掃除は、いや鍵山先生のされている掃除は全ての真理であって、今後一切のブレもないと感じています。だからこと、大谷先生は宗教も国も全てを凌駕しているとおっしゃられているのだと思います。そのように思

うと、これまでは自分が実践していくことで自然と周りに伝わっていき、じわじわと広がっていくのだと思っていました。それは間違いではなく、正解だと思えます。しかし、今回感じたことは、真理であって何にも通ずることであるのであれば、広げるぞと踏ん張らないにしても、本当の掃除を自分の周りの人などどんな声をかけて一緒に取り組んでいくというのも良いのだと思いました。そこで周りの人がするしないに関しては、その人に任せるにして、もともと努力をしないかれないといけないと思えました。そうしないと、周りに笑われることもないですし、反発をさせることもないです。若いからこそエネルギーをいっぱいに突き進んでいきたいです。もしずれていても、その時には修正してください方が現れることと思えます。鍵山先生に始まり、皆さんに炎をつけて、最後に大谷先生のお話で、その炎を一つの火柱になりました。想いも志も皆一緒に、全国各地でその火柱が見合えるように生きたいです。

この度は佐古先生、三好先生をはじめ山口の先生方、掃除の会の皆様には本当にお世話になりました。ありがとうございます。この場をお借りして感謝申し上げます。



板書しながら講話される鍵山相談

## 第二章

### 第十一回鍵山教師塾 感想文

(※閉会式前に二〇分間で、お書きいただいた分)

★福岡県 女性★

今回、初めて鍵山教師塾に参加させていただきましたが、鍵山先生の生き方・掃除道に触れることができただけでなく、鍵山先生の教えを実践に移していらっしやる先生方と出逢い、お話をさせていただき、大変勉強になりました。私自身、まだ大学生であり、教師として教壇に立つてはいませんが、先生方のお話は腑に落ちることが多くありました。それは私が出逢い、教わった先生方から学生時代にもらっていたからだと思います。そう考えると、私自身、良き先生に出逢わせていただき、良き学びの環境に身を置くことができているのだと思います。

次はこの経験と学びを自分が教師となり、子どもたちに還元したいとこの教師塾に参加したことで想いが強くなりました。トイレ掃除も初めて参加させていただきましたが、鍵山先生が「掃除」を通して世の中のすさみをなくし、真理を追究しようとして取り組まれてきた所以をまだまだですが、少し実感できたように思います。この一泊二日の学び・経験・出逢いをどう生かしていくか、帰

つてからの行動が大切であり、そこにこそ意味があると思うので、まずは自身で実践していこうと思います。

来年度から教育の現場とは離れてしまいますが、将来教壇に立つために、今の想いを大切に、自分の器を大きくするためにも、日々の自分に矢印を向け、掃除に取り組もうと思います。

この度は参加させていただき、本当にありがとうございます。また機会があれば是非参加させていただきます。

★★大阪府 男性★★

私は初めて鍵山教師塾に参加させてもらいました。まだまだ「使命感」というものを持つことはできていないですし、六波羅蜜でいうと布施の程度です。(それ以前かもしれません)しかし、そんな自分にも親身になってくださった先生方が声をかけていただき、温かい言葉でアドバイスをいただきました。大変ありがたいことです。この会を通して自分がすべきことは、自分が大切だと思ったことをとにかく続けることだと確信しました。多くの志の高い人たちから刺激を受け、先の将来は自分が、今と同じような人の助けになりたいと思いました。

スタッフの方々、参加される方々の気遣いの力も感じました。日々の生活の中で、まず目の前の人を喜ばそうと考えることからの第一歩なのかと今は考えています。とにかく動く、この頭の中で考えたこと、学んだことを今日から続けます。このような機会でたくさんの方と交流し、学び合えたことに心から感謝です。ありがとうございます。

★★長崎県 男性★★

今回、参加させていただきありがとうございます。会場の準備、会の運営、とてもすばらしかったです。お世話になりました。

私が今回の教師塾で一番感じたこと、すばらしかったことは、山口のスタッフの皆様の動き、統率力のすごさです。これだけ準備されて、企画され、さらにはスタッフの皆さんが献身的に動いているところです。すばらしいです。しかも、校長先生クラスの方も、フットワークよく動いているところがとてもよかったです。大変お世話になりました。反面、自分が動いていないことを反省しました。スタッフの方が動いている分、自分ももっと違う面で積極的に動くべきであったと思いました。

仲田先生の実践は、心惹かれました。荒れた学校を花いっぱい学校のし、生徒の心も変えていったというところがすごいです。あせらず、あきらめず、取り組んだとおっしゃっていました。飲み会でもう少し、詳しく具体的な手順を聞きたかったです。最後の大谷先生の話は、いつも身につまされます。「ちゃんと実践してね。」とおっしゃられているので、日頃の自分の学校でのふるまい、仕事ぶり、生き様を反省させられます。年齢的にもすっかりと自信をもって行動しなければなりません。大変お世話になりました。ありがとうございました。

★★東京都 女性★★

いろいろな方からご縁をいただき、東京から参加させていただきました。いつも思うことは、昨日までは他人だった方が、鍵山教師塾を通して、以前から知っているようにお付き合いさせていただけること、感謝の気持ちでいっぱいです。山口の先生方が、飲み物を用意してくださったり、車を運転してくださったりなど、すべてのことを考えて運営してくださったからだと思います。私はこの、山口のあたたかい雰囲気がとても好きです。自然の中にある朴の森も人も・・・自分も次

の一步を踏み出すために、この山口で頂いたご恩を、次の世代につなげていきたいと思ひます。本当にありがとうございます。

★★大阪府 女性★★

ありがとうございます。佐古先生、三好先生、この朴の森での会で大変お世話くださった先生方に心より御礼申し上げます。人いかに生きるか、出会い、出逢いの中で教えを受ける学び、それは実践を通じて受けた念を返していく使命があることを強く思いました。教師塾に参加される先生方、世代の変遷の中、大変な問題が起き、苦悩。いつの頃からか「人は楽に生きられない」ことを教えられ、今をいかに受け入れ、問題に真剣に当たるか一番の問題の解決、後はケ・セラ・セラ。素晴らしい若い先生方と出会え、たのもしい限りです。

★★大阪府 男性★★

準備・運営をしてくださった方々、本当にありがとうございます。教師塾に参加すると、いつも感謝の気持ちでいっぱいになります。また、見えないところで動いてくださっている方々が見

えてくるようになります。見えなかったものを見てくる、これってすごいことだなと思ひます。きっと普段の何気なく過ごしているだけの生活だと、この感覚は身につかないと思ひます。こういう場に参加させていただけるからこそなんだと改めて「ありがとうございます」が浮かんできます。

鍵山先生から、直接感じる機会は今ほとんどない。大谷先生の言うように「時間が無い」こういう機会を逃さずに行きたいです。全国から来た様々な先生方との出会い、これも本当にうれしいし、ありがたかったです。こういう場で、出会えることの素敵さ。何か意味があると信じています。出会いは必然だとつくづく思ひました。ありがとうございます。

★★大阪府 男性★★

○鍵山教師塾の目的・意義を再確認する。  
○鍵山先生の行き方そのものが実施であり、すべては日常の中にある。頭では意識、それを無意識に変える。すべては自分の中にあり、深める中で成長する。自分ひとりであっても、やりきる。

やり抜く肚が必要。自力をつけるために掃除を続ける。そこに損得はなく、無の中で身を低くして日常を過ごす。下坐行の原点がそこにある。「掃

除を掃除道に」受け入れるとは、欲を捨てる、自分と向き合う。

○トイレ掃除実践

・時間配分・役割がしっかりとできていたことで、初めての者どうしが気づけばチームになっていた。

・方法論ではないところに、真理がある。  
・子どもたちの感想発表にすべてが現れていた。親子で参加されていた方がおられたが、見ていても温かく感じた。

○山口での開催に際し、三好先生、佐古先生が早くから準備いただき、鍵山先生の思いをしっかりと肚に据えて動いていただけしたこと、中原先生始め、山口の先生方の教育への思いを感じながら、多くのことを感じ、学ばせていただきました。朴の森の岡本様を始め、スタッフの方に感謝申し上げます。

★★奈良県 男性★★

今回改めて心のスイッチを押していただきました。場から人から実践から。鍵山先生が本当に命を削り来てくださり、私たちに想いを寄せてくださっている。その意味、意義、裏を思うと、自分が何をしなければいけないか、自分にできるこ

とは何か、自分の使命、今、させていたでいてること全てを真の心で向き合い取り組んでいるかを問いただす時間になりました。

今は本当に幸せな環境にさせていたでいています。仲間・家族・子どもたち。周りにたくさんの方がいて自分があります。自分ひとりにできることは小さいけれど、たくさんいてくださる周りの仲間、子どもたちと向き合えた時のパワーは大きい。受け継ぐ、つなげることの責任感、今にしかできないこと。今の仲間にも、今の子どもたちにも今しかない。鍵山教師塾でも今しか学べないことと同じで、今向き合うために、今自分が実践を積み重ねること。そこに命をかけてと言えるほど、前向きに正直にまじめに、諦めずにやっていたいと思います。やはり言葉では表しにくく、今回、心・体で感じた一つ一つを自分の行動へつなげていきます。今、その時を大切にしながら一つ一つ積み重ねを継続します。

今回、たくさんのお見えないところで動かれ、準備そして片付けをしてくださった方々、心より感謝致します。自分の実践に変えていきます。感謝。

★★大阪府 女性★★

二日目のお昼から参加させていただきました。

中途半端なことで申し込みも期日を過ぎてしまつてからだったのに、駅へのお迎えも何度も連絡して、きつちりとしていただく丁寧さに感謝の限りです。

鍵山幸一郎さんのお話を聞き、自分が行動して自分が信じるべき師をもとうと思いました。自分にとつて不利なことでもきちんと考え、論じられるそう言う人をこれからも大事にしていこうと思います。大谷育弘先生のお話では、自分自身ももつともつと想いを濃くしていくこと、実践を積み重ねて自分を磨いていくこと、そして、ぶれない想いを持った人になって「先生」としてこれからの子どもたち、自分の繋がりの人に自分の大切だと思ふことを伝えていけるようにならなくてはいけないと思います。「自分」を自分が大好きになれる人まで磨いていって、「こいつが言うならしゃあないな」と思ってもらえる人になりたいです。

★★長野県 男性★★

二日間、鍵山教師塾に参加させて頂きまして誠にありがとうございました。何回もこの会に参加させて頂き、自分の中で腑に落ちないこともありました。それは、自分は本当に覚悟をしているの

か、使命感をしっかりと自覚しているのかという点にあったかと思えます。会が終わり、現場に戻ったとき、確かに掃除をしたり、環境を整えようとする自分はいるものの、同僚への誘いはあつただろうか、また、同僚は自分の誘いを受け入れてくれるだけの人間になれていたのかどうか、この点において、自分の芯がぐらついたり、結果を恐れる自分がいたりするように思います。

今回の山口県における鍵山教師塾は、「もう時間がありません」という大谷先生のお言葉に込められた覚悟に生きる最後のチャンスのように思っています。大谷先生の最後の講演会の最中に、涙が溢れてきましたが、その涙の意味について、この後少し自分を振り返ってみたいと思います。ありがとうございました。

★★兵庫県 男性★★

教師塾に参加させていただけること、それ自体が自分の役割だと今回思いました。実は、八月三日（水）に義理の父が急逝しました。三日夕方に危篤の報せが入り、家族全員で徳島へ向かいました。しかしながら、途中のサービスエリアで亡くなったことを知りました。四日に通夜、五日に葬儀、他すべてを済ませました。義母、妻の心労を



考えたら、今回の参加は難しいと思いましたが、妻が「行ってきた」と一言、送り出してくれました。そして今、ここにいます。義父は七十五歳でこの世を去りました。

相談役の年齢等、色々なことを考えると大谷先生が言われたように時間がありません。一人でも多くの先生がこの真理に気づくことが、日本を世界を、導けると思っています。掃除は誰にでもできます。ということは、どんな先生にでもできます。しかしながら、生徒に掃除をさせても自らがほうきを持たない先生もいます。それを批判するわけではないですが、教師一人ひとりが変われば、四〇人、四〇倍のスピードで子どもが変わります。だからこそ、今日、掃除道の入口に立たれた方もやがて猛烈なスピードで世の中を変えることができると思います。この教師塾にこさせていただく軸の再確認ができます。義父も見守ってくださいていると感じます。精進しなければなりません。最後に、企画準備から当時の後始末まで大変お世話になりました。おいしいお料理他、お心遣いもうれしく、ありがとうございました。さらに深くさらに広く前に進みたいと思います。

★★大阪府 男性★★

二日間の日程、大変お世話になりました。学ばせていただいている、そう感じるほどに何から何までいただきました。学生の私からすると多くの教師の方々から学び、交流させていただける場があるのは、ありがたいことですし、貴重なことです。

教師の使命を感じ、背筋が伸びる思いでいれる学生はおそらくほとんどいないと思います。多くの先生方を見ていて、現場の生々しい話を聞くこともそうですが、みなさん生き生きとされた笑顔で教職について話されているのがとても印象的でした。教職という仕事に対しての誇りや熱意がここではヒシヒシと伝わってきます。

これで今スタートラインに立てました。ここで学びを「実践」することが大切で必要なことであるとあります。学生の身ながらも使命をもって生きたいと思えます。二日間大変お世話になりました。ありがとうございました。

★★大阪府 男性★★

二日間お世話になりました。ありがとうございました。私は、今、この場に居ながらもなお、自分に格好をつけていることに気がつきました。幸

一郎様が言うてくださった厳しいお言葉に自分の甘さを感じました。学びに来ているはずがお客様になっていました。

田中会長が自ら考えてください。対象物と向き合ってください。と言われました。私は私のことを考えているだけになっていました。

仲田先生の実践には“やりきる”そして“愛”が溢れていました。私は口先でごまかし、自ら汗と愛でもって子どもたちと向き合えているのかと考えさせてもらいました。大谷先生には、日々言われ、背中を見せてもらいながらも、自分は自分に甘く、鍵山先生の生き方に学ぶ掃除道を求めようと実践してきたのか、自らに問いかけていきたいと心に響きました。このように、感想には良い事、自分に都合の良い事しか書きません。実際に自分から自らの行動を通して道を求めていきたいです。ありがとうございました。

★★大阪府 男性★★

「一度つかんだ手ははなさない」私は日頃より大谷先生他、大阪の先生方と過ごさせていただく機会をいただいています。真理、信じる、突き進む、今は疑い、悩みは全くありません。一本の道をただただ一歩ずつ進んでいく、ただそれだけで

す。鍵山先生のお姿、目に、心に焼き付けました。今回の会、三好先生、佐古先生を始め、山口の先生方、掃除の会の皆様、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

★★岡山県 男性★★

二日目の深夜より参加させていただきました。駅まで迎えに来てくださり、お心遣いに感謝いたします。また、この会を主催するにあたり、準備などとても大変だったと拝察いたします。ありがとうございます。

この鍵山教師塾の本当の意味を大谷先生が話してくださいました。「掃除をしても心はキレイにならない」「掃除は言葉で伝えるものではない。」自分が実践して、やっている人が伝えることで伝わっていくのだと、改めて気づかされました。「何を言うか」ではなく「誰が言うか」その人が言うなら、やるしかないと思われる人間になれるよう生き方を丁寧にしていきます。人を動かしていくということは、そういうことだと思いません。

この鍵山教師塾に集う人たちは、全国の心ある人たちです。そういう方々と同じ空間で過ごすことができるだけでもありがたいことです。手本

になる方がたくさんいます。職場では自分が手本となれるよう自分をぶらさずに取り組んでいく勇気をいただきました。鍵山先生の思いを深い所ですっかりと感じ、この日本をよくしていけるように行動していきます。お食事、おそば、レンタカーなど金銭だけでもご支援いただき、感謝しております。ありがとうございます。

★★福岡県 男性★★

以前より参加したいと思っておりました鍵山教師塾によりやく参加することができて、嬉しく思っております。予想していた以上に素晴らしく、志を持って見事な実践をされている方々に頭が下がる思いでした。

一日目の実践の報告は、本気になって学校の改善に取り組むということが、ここまで徹底してやることだと思ひ知らされ、自分の行動の甘さを自覚し、頭を殴られたような気持ちになりました。二日目の実践は無心に打ち込んでいる自分に気づくことができました。見事な準備、段取り、片付け、その素晴らしさに感動し、ここで掃除ができたことをうれしく思いました。大谷先生の実践発表では、行動の大切さを感じさせられました。鍵山先生の教えをよく自分のものとして捉えて

おられることが伝わってきました。

知識を伝える教師として、何を教えるかにこだわるのではなく、教えるにふさわしい人間になれるように、生徒の心に言葉を届けられるように人間を磨いていきたいと思ひました。見事な準備、運営のおかげで大変有意義な研修となりました。ありがとうございます。

★★高知県 男性★★

多くのことを学ぶことができました。自分磨きをしていきたいと思ひます。人を巻き込めることができるように実践していきます。

★★京都府 男性★★

二日目からの参加となり、一日目に参加できなかったことを後悔しています。ただ、一日目から流れを作っていただいたことは、あらゆるところで感じられ、自然と入らせていただけました。トイレ掃除をしながら、普段出来ないことを改めて感じ、今回のトイレ掃除は反省行のようでした。そして、鍵山幸一郎様、大谷先生から、使命を受け取りました。先日「集合的無意識」という言葉をいただき、場所は違ふところにおいても、そ

の時間に同じ気持ちにいればつながっているということ。いただいた使命を持ち続けることで、多くの方とつながっており、その使命を持ち続けるために実践する。そんな行き方をこれからもしていきたいと強く思い、一日目に参加できなかったことも意味があったように思います。

この会を進めるにあたり、多くの準備、心遣いをいただきました。この思いを恩送りさせていただきます。ありがとうございました。

★★大阪府 男性★★

貴重な経験をさせていただき、ありがとうございます。借り物の言葉ではない、実践すること」大谷先生の講演を聞く前に、一流スポーツ選手の行動を通して学んだ人の言葉を講演で聞いて感動したことがあります。一流選手の行動を学び、一流に近づきたいという思いは、私を含めて誰にでもあると思います。大谷先生にその講演のお話をする、その講演のお話は悪いものではないですが、そのお話は一流選手のお話だからみんなが聞くのでしょうか。もし、そこを消してしまおうと誰が聞くのでしょうか。それは、誰かと比べる、何等かと比べる相対的な世界であり、鍵山先生の行動は絶対的な世界のお話であると。

大谷先生のお話は、どういうことか分からなかったのですが、二日間掃除と大谷先生のお話を聞いて、人から受け売りの言葉ではなく、自分の実践で学んでいく必要を感じ、少し見えてきたように思えます。ご準備、お世話、ありがとうございました。

★★広島県 男性★★

今回も体が大変な中、鍵山相談役が私たちのために山口県までおいでくださいました。少し、お話をさせていただきましたが、何とかして教育をよくしたい、そのために先生方がんばってもらいたいというお気持ちでビシビシ伝わってきました。微力ながら全力で努力したいと感じました。若い先生方のエネルギーにあふれた姿に出会い、嬉しさと同時に大きな勇気をいただきました。また、沖縄県から仲田校長先生のお話を拝聴することができました。以前からずっとお会いしたいと思っていました。〃環境を整えて学校をよくする〃本当にすばらしいなという想いを持っていました。お話をさせていただき、思っていたおりの先生でした。この鍵山教師塾をいつまでも発展させていきましょう。ありがとうございました。

★★広島県 男性★★

ありがとうございます。平素の実践を大切にすることを学ばせていただきました。お礼を申し上げます。これから家庭・学校にて活学できるような一隅を照らす実践を心がけます。

全国に志ある教師がいることを知れたことも有り難いことでした。学ばせて頂き、ありがとうございました。

★★福岡県 女性★★

この度は、鍵山教師塾に参加させていただき、ありがとうございます。以前に、大谷先生より遠慮と謙虚は違うと教えていただきました。鍵山先生に久しぶりにお会いできたにもかかわらず、何も行動しない自分が情けなかった。掃除は初めて参加させて頂きました。一生懸命しました。心の中は、すっきりしたものの、何か変わったこともなく、淡々としているときに、最後の大谷先生の言葉で胸が苦しくなりました。掃除をしたことによる自己満足に浸っているだけで、鍵山教師塾に何しに来たのかと改めて思いました。人に合わせる顔がない、もう一度改めて逃げないようにします。スタッフの方々、先生方、お世話していただき、ありがとうございました。

★★福岡県 男性★★

「なぜ掃除をするのか」その一点について深く考える機会となりました。言葉にするのが難しく、私自身、どのように表現すればよいのか、未だにわかりません。

しかし、掃除道を自分のやり方で突き詰めていくしかない。その心でもって子どもたちに接し、教師にしかできない、さらに私にしかできない役割を全力で果たさなければならぬと強く感じています。鍵山先生がどれほどの想いで掃除を続けてこられたのか。その想いの深さは測りきれないことでもあります。

全く考えが及びませんが、私に出来ることは何か。すべきことは何か。考えていきたいと思えます。ありがとうございます。

★★北海道 男性★★

鍵山相談役が一〇分のために山口まで足を運ばれた想いをすっかり受け止め、実践しなければいけないと思いました。教師としての覚悟と使命を今一度、考え直さなければいけないと。いつもより掃除にかける時間が多くありました。「没入」して取り組むという感覚を少し感じました。久しぶりでした。しかし、まだ何も始まっていません。

すべて準備された中、させていだただけだと思えます。地元に戻ってが始まりだと思えます。三好先生始め、掃除に学ぶ会の皆様、スタッフの皆様、大変だったと思います。この度は本当にありがとうございました。また、山口を訪れさせて

★★愛媛県 男性★★

鍵山先生の思いを自分自身、どこまで受け止められるのか。それは自分に応じたものでしかない。普段からどれだけ実践を積み、自分自身に矢印を向けられているか。その継続した時間に比例して自分が磨かれていくと思う。今回の教師塾で学んだことや気づいたことは、これからの自分の有り様によってさらに深められるか、逆に浅くなっていく。

今回の御縁、そして、準備・お世話をしていただいた方々の心を二〇%以上、受け止められる自分になれるよう、今日から実践したい。使命感・覚悟を持ち、逃げない生き方をしたい。

★★大阪府 男性★★

いつも鍵山教師塾に参加させて頂き、日常の中

での自分の実践のレベルが下がっていく中で、来るたびにその中身を検証され新たな支点や活力をもらっていることに感謝します。鍵山相談役、佐古先生、中原先生、仲田先生、鍵山幸一郎様、そして大谷先生のお話から自己の反省として、今から生きる姿勢に生かし教師としての使命を自覚し、覚悟せねばと思っております。みなさん、ありがとうございました。

★★福岡県 男性★★

伝統を継続するということが今の私の使命を考えていけるようになりました。今から帰って土作りと水づくりをします。また、今から私ができることは八〇〇年桜を育てることと決めました。一心感謝。

★★兵庫県 男性★★

鍵山相談役が病身をおしてお越しいただいたことが最後の大谷先生のお話を聞いて、意味付けられました。今までの実践はどこか「おめでたり」ものであったと思います。「実践不足」が今、私の頭に多く出てきます。「時間がない」ことも頭に出ます。もっともっと続けていく覚悟です。佐

古先生、三好先生、中原先生はじめスタッフの皆様、ありがとうございます。快適な二日間、学びの多い実りのある二日間でした。

★★大阪府 男性★★

〈一日目〉

鍵山相談役とのお話のなかで、掃除を始めることへの抵抗に対して、「新しいことを始めると、笑われ、反対されることがある。」とおっしゃっていました。相談役自身もそのような時期があったとのことで、そこを乗り越えることで本物になるとおっしゃっていたことが印象に残りました。そんな中でも、「遠くから不些細なことを少しづつ」やっけていくとすんなりと受け入れられることがあったとのことでした。

また「なぜそんなことを続けていくことができるのか」という中では、「才能や知識がなかったからです」とおっしゃっていました。とにかく「親に心配させない、させたくない」という言葉も印象に残りました。仲田先生のお話では、生徒たちとともに校内環境を整える点と点が結ばれて線と線に、線と線が結ばれて面になっていく様子を見せて頂きました。懇親会では「一〇〇回で無理なら、一〇一回やる」「できなくても、また始め

ればいい」という言葉を頂きました。久保先生と話す中でも同じように話をされ、生徒がキラキラする瞬間をもっと見たいと思いました。

〈二日目〉

トイレ掃除では、換気扇を担当させて頂きました。みなさんが便器を磨く中でしたが、「美しくする人がいて、美しくなる。美しくなって、美しくできる」と思いました。終わってから蛍光灯をつける、と見違える程の気のきれいさに感動しました。とにかく、職場に戻ってトイレを磨きます。三好先生はじめスタッフの皆様にはお世話になりました。

★★兵庫県 女性★★

今回、鍵山教師塾に参加させて頂くにあたり、

佐古先生、三好先生をはじめ多くの先生方にお世話になりました。やさしさのかたまりのような時間を過ごさせて頂き、本当にありがとうございます。二日目のみの参加でしたが、多くの学びがありました。興進小学校にいたとき、日本を美しくする会の阿部さんがすぐに校庭の木を見て掃除をされました。掃除は生き様なのだなど感動しました。掃除実習は周りの方々の動きを見て、学ぶところが大きかったです。色々な地域の先生

方と掃除できるのはとても嬉しいことです。

お昼のお弁当、かき氷、おそば、どれも美味しくて心も元気になりました。大谷先生の報告では、鍵山教師塾に参加した教師としての覚悟を聞かれた気がしました。反省し、国家のために動ける人になれるよう、がんばりたいです。

★★福岡県 女性★★

ありがたく、もつたいない時間でございました。山口の地、この朴の森は待っていたんですね。真実の先生達のお姿、お魂、お心を、じっと待っていたのですね。この地で天に向けて、一泊二日の大勉強会、教師塾。心を磨き、魂を磨き合い、良きことを展開するために心のライバル。この会の中に入り込み浸透していく我が身のありがたさ。心臓の音が聞こえてくるが如く、勝手に一人で魂が走りました。人間の心に引っ張られました。多くの先生の魂がかたまつて、私の魂を響かせるのです。一人ではなく一〇人、一〇〇人、一〇〇〇人、美しく真実の魂が競い合い、昇上していく皆の心を感じました。先生がたくさん、たくさん行列されています。この場において感謝でございます。

★★福岡県 男性★★

稲盛和夫氏は、本やCDで六波羅蜜をしばしば説かれています。本日の説明は少々難しく、稲盛和夫氏の本またはCDに非常にわかりやすく説かれています。鍵山秀三郎相談役は六波羅蜜を説く前に、すでに実践を重ねていらっしやって、偉大なお方だと感じました。教師の皆様のお幸せとご健康を祈ります。ありがとうございます。

★★福岡県 男性★★

動けば変わる。まず、具体的な一歩を出すことだと思えます。そのためには、掃除の会に積極的に参加して自己研鑽に務めることから始めたいと思います。自ら行動し、体験することで感じる世界です。掃除をやった悪くなった人はおりません。続けることでよさがわかります。そして、続けるうちに大谷先生が説明された理論、なぜトイレ掃除か？が頭でなく体で感じるようになります。その流れの中で、子供さん達と「やろう」という気持ちで自然に生まれてきます。日本の将来、世の中のために何が大切か？勉強も大切ですが、人としていかに生きるか？世の中のために、どうして行くのかという部分を求める道が掃除道だと思えます。一人で頑張る必要はありません。

一歩を動き始めると、多くの仲間とつながり、共に助け合って歩むことができるようになります。

★★沖縄県 男性★★

素晴らしい二日間でした。何より自分自身を見つめ直すことができました。企画・会場・食事・交流会また大きな節目になりました。

会場が暑かったのもよかったです。拙い実践に命を与えていただいたことに心より感謝致します。全ての皆様、ありがとうございました。

★★山口県 男性★★

何よりも早くからこの会のためにご準備なされた佐古先生、三好先生はじめ関係の先生方に感謝申し上げます。志高く、信念をお持ちの多くの先生方と出会うことができ、大変多い時間を過ごすことができました。実践発表なされた先生方のお話からも、まっしぐらに教育の道を進んでいらっしやるご様子が伝わってきて、大変感銘を受けました。この会が意義あるものとして長く続くことを強く確信致します。最後に、鍵山相談役のご講演のお姿には涙が出そうになりました。ありがとうございます。

★★山口県 男性★★

今、いろいろな思いが渦巻いていて、うまくまとめられませんが、自分の中に何かしなければ、自ら動かなければと強い気持ちで沸き起こってきます。正直なところ、まだ掃除の会が宗教っぽいという気持ちもゼロではありませんが、最後の大谷先生の話聞いて心にストンと落ちるところがありました。“人は毎日見ているものに心が似る”この言葉を戒めに学校に帰って、もう一度自分の仕事を見直してみたいと思っています。

★★山口県 男性★★

二日目の途中から参加させていただきました。トイレ掃除に学ぶ会との出会いは、私個人が、根が「がさつ」で「はしかい」性格で、学校に勤めている時は、生徒を始め周りに迷惑をかけてばかり。私にないものが学ぶ会にはあると感じ、岩国の佐古先生のお世話で勤務している学校でトイレ掃除をしていただいたということからです。今回の塾で、実践でも個人として世間のことを忘れて無心になれたこと、また、それが心地よかったこと、過去の勤務校でのトイレ掃除でも私個

人だけでなく、参加した生徒も保護者も同じような思いに至った者が多かったように思います。

今回の参加者に若者が多かったこと、この若い教師たちが自ら実践し、同調してくれる仲間が増えてほしいと思っています。今は、現場を離れています。今、また集いがあれば、参加し、良さを広める一助になればと思っております。昨日の相談役のご講話を拝聴できなかったのが唯一の心残りですが、お元気で活躍されること間違いのないと思いますので、またの機会を楽しみに、この地での実践をと思います。貴重な機会をありがとうございます。感謝申し上げます。

★★山口県 女性★★

初めて参加しました。“掃除は根気ではない”はじめにリーダーさんがおっしゃった言葉がとても印象的でした。便器を生きているものとして見立て、生徒と見立て、触れる、磨く、この過程で便器、壁、床がきれいになるだけではなく、自分の心が晴れていくのを感じました。“生徒も一緒やろ、ごしごしやってもダメ。一方的にやっただけで伝わらん”同じ班にいらっしやった先生(教師)がおっしゃったことです。ああ、確かにそうだなと思いました。掃除を終えたあと、トイレと

いう空間が違う空間に見えてきました。今までは汚れている、臭い、用を足すだけの空間だったところが、キラキラと輝き、きれいな空気が漂い、温かみさえ感じるようになっていました。

心から向き合い、本気で向き合うと違う景色がみえてきました。ここからがスタートだと思いましたが、この感覚を忘れてはいけません。早く自分の学校に帰って、まずは自分の体を動かして、学校のトイレを掃除したいと思いました。そして、自分が無心になってできるようになったら、これを広めていきたいと思えます。同僚、生徒と共に学校を掃除することによって、自分たちの心を変えていきたいと思えます。六波羅蜜でいうと、私はまだ1の段階、片足を突っ込んでいる程度です。今日から考え方を変えます。自分への矢印をたくさん感じて、自分自身が成長していこうと強く感じました。一日ではありましたが、本当に貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます。

★★山口県 男性★★

全国で実践を積み重ねられている先生方の実践事例を拝見して、大変勉強になりました。先生方の思いが、生徒に伝わるまで、時間はかかったと思

ますが、何事も地道に取り組むことが大切だと感じました。今回、私自身、一番の研修になったのが掃除です。取り組み方を丁寧に教えていただきました。担当した小便秘器も尿石がひどくこびりついていましたが、一心不乱に磨いていると、いつの間にかきれいになっていました。まずは、学んだことをこれからも自分自身で続ける。そして、自信をもって掃除のすばらしさを伝えていける教員になりたいです。御庄小学校の先生方には大変お世話になりました。ありがとうございます。

★★山口県 男性★★

自分ひとりですることは小さいですが、ひとつのゴミ拾いから、一箇所のトイレ掃除からやっていたいという思いを強く持つことができました。SSWさんがゴミ屋敷だった家庭に入り、大掃除をしたことでその家の子どもが落ち着いたという話を聞いたことを思い出しました。防府市でも同じ思いを持つ先生がいらっしやいます。強制だけでなく、思いに賛同してくださる方と少しずつでも行動を起こしていきたいと思えます。参加させていただき、感謝です。本当にありがとうございました。

★★山口県 男性★★

同僚に誘われるままに参加してみたが、大変勉強になる有意義な研修会であった。鍵山先生の話は雑誌「致知」で読む内容であったが、我々は命をはって語られた生き様に多くのことを学べた。また、今回初めてトイレ掃除を試みたが、要領よく掃除を進める方法を教えてもらい、防府市の学校へ広げていきたいと強く思った。今後この勉強会で学んだことを、いかに実践につなげていくかが課題であるが、まずは自分自身が今まで以上に本気で掃除をしようと思っている。素晴らしい勉強会に参加させていただき、心から感謝している。大変お世話になりました。

★★山口県 男性★★

教師の志を教えてください、ありがとうございます。自分自身の行動が一番。行動あるのみ。ありがとうございます。

★★山口県 男性★★

心に残る二日間となりました。感謝致します。同じ言葉なのに誰が言うかにより受ける私の反応が違う。素直に聴ける人、素直に聴けない人が

いる。大谷先生の発表で腹に落ちました。

★★山口県 男性★★

今回、この会に、初めて参加させていただきました。社会人としても一年目で、いつもやることに勉強であると思っていましたが、頭でつかちになつていたなと思いました。たくさんのことを学びました。しかし、自分のものとして、生徒の役に立てることはほぼなかったと思直しました。これからは、教師が自らがやっていく姿勢を見せなければならぬし、やっていきたいと思います。

★★山口県 男性★★

山口県で中学校の教師をやっております。六年ほど前に初めて鍵山先生にお会いして掃除道に触れて以来、教師としての指針の一つとして、清掃活動に取り組んでおります。六年前に感じた「熱」を昨日、今日の二日間でも、取り戻せたように思います。こころ・二年は忙しさに忙殺されて省みる余裕もなく、なおざりなってきた。忙しさを忙活することも必要ですね。特に、最後の大谷先生のお話が一番腑に落ちました。（鍵山先生を始め、他の人のお話もちろんなの

ですが）

きれいごとではなく、実を追求すべきだと。その先に言葉があるのでしよう。ありがとうございます。

★★山口県 男性★★

初めて参加させて頂き、また実践発表もさせて頂き、大変勉強になりました。と同時にこれを伝え、広めていかなければならないという思いを強くもちました。それはなぜか、教師の人間力（人格を高める）ために、掃除道はとても有効だからです。また、それが子供たちにもいい影響を与えます。子供達と掃除に一生懸命に取り組むことで、お互いの良知（その人のよき）が発見され、お互いにいいところを認め合えるような関係になれば絶対に学校は荒れないと思えました。

教師が力をつけることで、子どもたちが成長する。力のついた教師の言葉は、重く、必ず生徒に響くものだと思います。第12回もぜひ参加したいと思います。大変お世話になりました。



★山口県 男性★★

各地に熱い思いを持った先生がいらつしやる  
ことがわかって嬉しく思いました。このような機  
会に恵まれてよかったです。お疲れ様でした。

★山口県 男性★★

何でも「やってみせる」ことで人は変わるとい  
うことを改めて学ぶことができたように思いま  
す。とにかく結果を求めがちな身を反省し、謙虚  
に実践を重ねていければと思いました。矢印を自  
分に向けるという話は、とても興味深いものでし  
た。しかし、そういう方ほど自責の念に駆られて  
うまくいかないこともあると思います。懸命に励  
むための強靱な意志を持つことは素晴らしいこ  
とです。無理のないよう、自分への矢印の向け方  
は考える必要があると思いました。今回初めての  
実践でしたが、みなさんの熱意に圧倒されてしま  
いました。自分が未熟なところがあるせいか、理  
解にいたらないことが多くあったので、今後の課  
題としたいと思います。

★山口県 女性★★

掃除の体験に加え、鍵山秀三郎先生の考え方、

生き方を学ばせていただいたり、鍵山先生の考え

を引き継いで実践しておられる先生方のお話を  
聞かせていただいたりと、たくさん勉強させてい  
ただいた二日間でした。自分が教師として、子ど  
もたちに掃除の魅力を伝えていけるよう、精進し  
ていきたいと思えます。ありがとうございます。

2日間を通して、様々な方と出会うことができ  
ました。様々な経験をされ、様々な信念を持つて  
いらつしやる、多様な職業の方々とお話をさせて  
いただき、自分の中の世界が広がったように思い  
ます。また、今回お会いした方々とは今回限りの  
関係ではなく、これからもつながりを持つていら  
れると思うと、大変心強いです。素晴らしい機会  
を用意していただき、ありがとうございます。

★山口県 男性★★

実践発表されたどの先生も、自分の信念を持つ  
て、教育実践を行っているということ強く感じ  
た。また、先生方との交流で、自分で限界を決め  
ていたと感じた。日々の業務や授業への取り組み  
などで、今の自分よりはるか上のレベルの取り組  
みをされている先生に実際に出会って、声を聞く  
ことで、上のレベルの方はどんなことをしている  
のか、自分が上のレベルに行くにはどんなことを

すれば良いのかが、少し見えた気がしました。

今回参加して、とてもよい経験ができたと思  
います。「人は日頃見ているもので、形作られる」  
「まず、教師が実践する」「道具の住所を明らか  
にする」など今回学んだことを実践していきたい  
と思えました。「何を言うか」ではなく、「誰が言  
うか」という言葉をもとに、心を磨くことを実践  
していきたいと思えました。

★山口県 男性★★

今回はスタッフとして参加させて頂きました。  
スタッフとして何ができたかはわからないです  
が、今回の研修会は大変有意義なものであり、参  
加して良かったとしみじみ感じているところで  
す。一番の収穫は何といつても「仲間」が出来た  
ことです。佐古先生がおっしゃった「名刺を作っ  
て、たくさん交換してください」というお言葉。  
その真意がようやくわかりました。一日目の夜に、  
三好校長先生が「問題が起きた時、仲間と共に考  
えれば、必ず解決できる」とおっしゃっておられ  
て、今回の研修ではその「仲間」ができたことに  
喜びを感じます。全国から先生方が集まる機会は  
そうありません。各県の様々な実情等も知るこ  
とができました。ここで出会ったのも何かの御縁、

ということ、これからの人生の中で大切にしていきたいと思います。

鍵山相談役のお話が直接聞けたということも私の人生の中で誇りとなるでしょう。“リスクを負って物事に取り組む”というお言葉は、まさに今回の相談役がされたことだと思います。この相談役の想いを次の世代、周囲に伝えていけないといけないと感じました。

## 【終わりに】

### 第十一回 鍵山教師塾事務局長 三好祐司

今回、初めて山口県にて鍵山教師塾を開催するということで、四ヶ月前から準備に入りました。会場の下見や宿泊や食事の手配等、様々な手はずを整えていく中でいくつかの問題が発生しました。インターハイと重なり宿が取れないということや食事会場が手狭であるといったことをはじめとしたいくつかの問題です。しかし、知恵を絞れば何とかなるもので、スタッフ一同が一丸となつて様々な問題を次々に解決することができました。

そして、一年間で最も暑い時期に冷房のない会場で、交通機関から遠い会場で、宿泊は雑魚寝という会場で、考えれば参加者にこれ以上の不自由を強いるものはないという今回の教師塾でしたが、参加者全員がその不自由を不満に思わないことが問題解決の最も大きな理由だったように思います。このことから、次のようなことを今回の教師塾から学ぶことができました。

それは、物事を起こそうとする時には、必ず問題が起きる。その問題がどんなに困難なものであろうとも、知恵を絞り諦めなければ必ず解決する。そして、一人では解決できない問題でも仲間と共

にそれに向かえば必ず解決する。さらに困難な問題であればあるほど、解決できたときの喜びは大きい。

このことは日頃から児童生徒に教えてきたことなのに、改めて自分が体験し、実感すると、人は何歳になっても問題解決の現場に身を置くことが必要であると感じます。さらに、困難から逃げることで自分の成長を阻害するということを感じた次第です。そして、全国にはこれほどの志を持った仲間がいるということを確認できたことは、自分にとって何よりの喜びでした。

鍵山相談役が『一日一話』の中で、スペインの哲学者オルテガの「エリートとは、断れば断れることのできる責務を、あえて受託する者である。自分自身の上に困難を積み重ねる者である。」という言葉を紹介されています。私たち教職にある者が、その心の中にエリートとしての生き方を置いていけば、その言動が児童生徒に対して良い影響を与え、そこから日本は確実に良い方向に動き始めるかと確信した次第です。誰かがやるのを眺めるのではなく、やる人たちの一員に加わることを大切さを学んだ鍵山教師塾でした。